

第一次佐久市総合計画後期基本計画「目標」の進行状況(最終まとめ)

<色別表示の見方>

■:目標達成(網掛け)

□:目標未達成

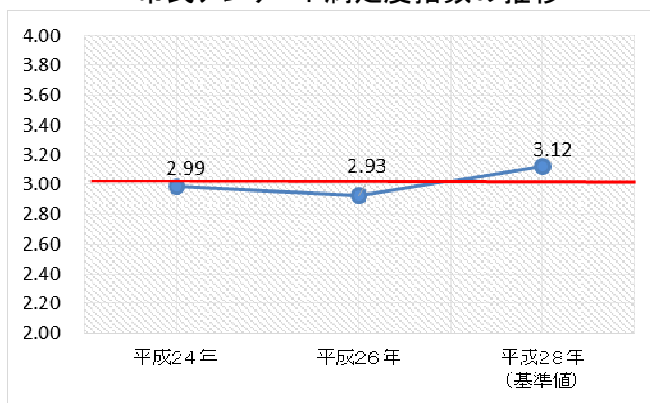
第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
1	111	文化・芸術	貸し館系施設の利用件数	件/年	8,705 [H22]	9,500	10,822	達成	文化への関心の高まりとともに、余暇利用などを目的とした貸館利用のニーズも年々増えており、目標を達成することができた。	既存施設の特徴を考慮し、連携と役割分担による効率的な運用と適切な維持管理を図ります。
2			観覧系施設の延べ入館者数	人/年	38,844 [H22]	40,000	38,975	未達成	展覧会等企画の充実に取り組んだ結果、入館者数の増加の兆しが見えたものの、目標値を達成することができなかった。	利用者の増加に向け、魅力ある展示や、講座などの開催を推進します。
3			少年考古学教室参加者数	人/年	67 [H22]	80	183	達成	多くの子どもの参加が期待できる教室を目指し、平成27年度からは、実際に子ども達が体験できる「勾玉づくり」、「土器接合体験」等の教室を行い、また、平成28年度からは、保護者も参加できるようにした。その結果、参加者は大幅に増加し、目標値を達成することができた。	市民の文化財、歴史に対する関心を高めるため、小中学校への出土品の貸出しや各種講座の開催など、文化財に触れる機会の拡充を図ります。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：文化芸術

- 文化振興のあり方検討
- 既存施設の充実と有効活用
- 市民の文化・芸術活動の促進
収蔵美術品の調査・検討
- 佐久の先人(業績・影響などを残した人物)の調査検討と成果の活用
- 文化財の保護・継承と有効活用



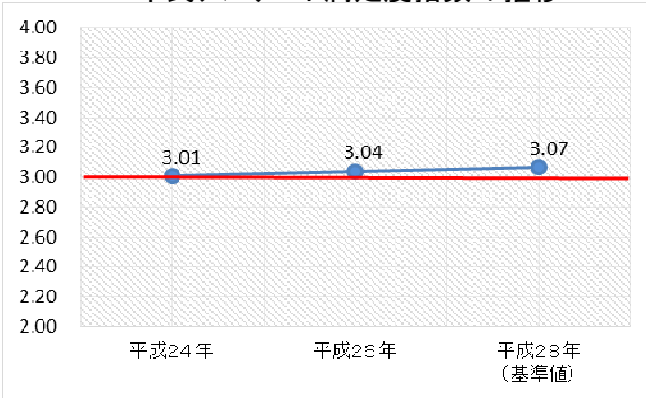
アンケート結果の分析及第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.17
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平成28年には0.19上昇した。これは文化振興基金活用事業等の効果によるものと考えられる。今後も文化振興基金活用事業を充実させることにより満足度の上昇を目指す。目標値は、年+0.01を見込み3.17とする。</p> <p>・文化に対する市民の意識調査を実施し、文化振興計画の改定に向けた検討を進めます。 ・佐久市文化振興基金を運用益を活用し、演劇や音楽、舞踊など優れた舞台芸術に触れる機会を提供し、施設の利用を促進します。 ・「佐久の先人」の業績を広く市民に周知します。 ・無形文化財の後継者の育成など、保存会などへの支援を図ります。</p>		

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・観覧系施設については、巡回展を行うなど展示の工夫をして欲しい。 ・施設、企画展、教室などのPRが不足していると感じる。広く市民だけでなく、市外の方にも知っていただくよう努力して欲しい。 ・シティプロモーションにも力を入れて欲しい。 ・市民アンケートだけでなく、小中学生など実際の参加者、利用者の声も参考に事業を実施して欲しい。
-------	---

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
4	112	地域間交流・国際交流	国際交流フェスティバル延べ参加者数	人/年	2,800 [H22]	3,500	3,000	未達成	ポスターやチラシにQRコードを入れるなど周知方法を工夫するとともに、会場周辺の駐車場の確保も行ったことにより、来場者数は現状値より増加したが、目標値を達成することはできなかった。	国際交流フェスティバルなどのイベントを開催し、相互理解を促進します。
5			国際交流サロン延べ参加者数	人/年	319 [H22]	400	329	未達成	佐久市国際交流ボランティアネットワーク合同会議を主体に、ボランティア団体とも協力し、開催回数を増やしたことにより、参加者数は現状値より増加したが、目標値を達成することはできなかった。	
6			空き家バンク掲載物件の契約成立件数	件/年	39 [H22]	50	70	達成	事業提携している宅建協会も独自に移住セミナーを開催したり、市単独のセミナーに建築士会も参加するなど、協力体制が強化されたことや、移住交流相談員の2名体制で、土日の対応を行ったことにより、実績値は順調に増加し、目標値を達成することができた。	定住人口の増加のため、空き家バンク事業の充実を図り、希望者のニーズに合った定住促進に努めます。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：地域間交流・国際交流

- 交流人口の創出
- 国際性豊かな人材育成
- 在住する外国人が暮らしやすいまちづくり

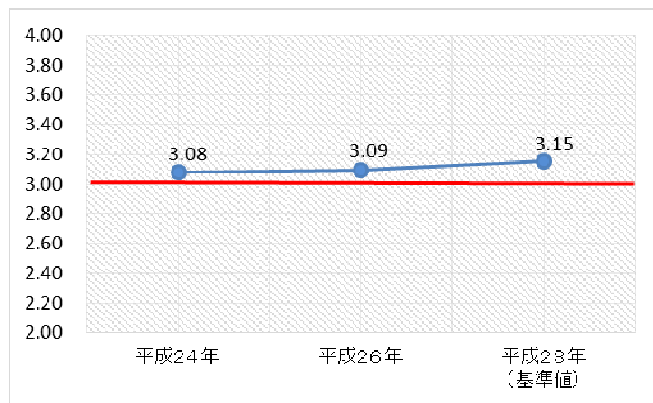
アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.10
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平均値付近ではあるが上昇傾向にある。今後も交流人口・定住人口の創出に取り組むとともに、在住する外国人にとっても暮らしやすいまちづくりに向けた施策を展開していくことにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、5年間で0.03ポイントの継続した上昇を見込み3.10とする。</p>	<p>・交流人口創出基本計画を見直し、佐久の魅力や交流情報を集約し、県内外に向けた積極的な情報発信を推進します。</p> <p>・国内外の姉妹都市、友好都市、ゆかりのまちや交流都市との交流を推進します。</p> <p>・国際感覚を身につけた人材の育成のため、中学生海外研修事業の充実を努めます。</p> <p>・在住する外国人に対する相談窓口の強化や生活情報の提供を充実し、暮らしやすい環境づくりを推進します。</p>	

審議会意見	・今後も引き続き施策の充実に取り組んでほしい。
-------	-------------------------

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
7	113	人権尊重社会	人権教育・啓発事業などの延べ参加者数	人/年	8,105 [H22]	8,500	9,718	達成	身近な人権について考える機会とする学習会の開催について、区や学校・保育園等へ積極的に呼びかけを行ったことにより、参加者数が増加し、目標値を達成することができた。	・市民一人ひとりの人権意識の高揚を図るため、人権同和教育講座、人権・男女共生フェスティバルなど、あらゆる場での啓発を推進します。 ・幼児期から継続した人権同和教育を推進するため、幼稚園、保育所、小中学校の保護者や保育者、教職員を対象とした研修会や講座の開催を推進します。
8			隣保館活動などの延べ参加者数	人/年	5,227 [H22]	5,300	5,577	達成	市広報紙「SAKU LIFE」や市ホームページ、新聞等の無料掲載欄による周知、学習会でのチラシ配布など広く市民に情報提供を行ったことにより、目標値を達成することができた。	関係機関と連携を図り、家庭、地域、職場における人権同和教育講座、学習会を開催します。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：人権尊重社会

- 人権意識の高揚
- 人権教育の推進

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.20
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、上昇傾向にあり、人権意識の高揚への取組や人権教育の推進による効果と考えられる。</p> <p>過去4年間で0.07上昇していることから、今後も人権同和教育・啓発活動事業などの取組を実施することにより、5年間で0.05の上昇を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権を尊重する明るいまちづくりを推進するため、「第三次佐久市部落差別撤廃と人権擁護に関する総合計画」に基づき、市民、学校、行政などが一体となり、各種施策を総合的かつ計画的に推進します。 ・インターネットを悪用した人権侵害をなくすため、研修会などを通して利用者のモラルの向上を促進します。 ・障がいや障がいのある人への正しい知識や理解を深めるための教育を推進します。 ・人権教育の指導に当たる人材の養成と、人権問題の相談体制の充実に努めます。 		

審議会意見	・人権教育・啓発事業などの延べ参加者数の目標は達成しているが、市民全体からすれば10分の1であり、様々な場面で今後も啓発活動に取り組んで欲しい。
-------	--

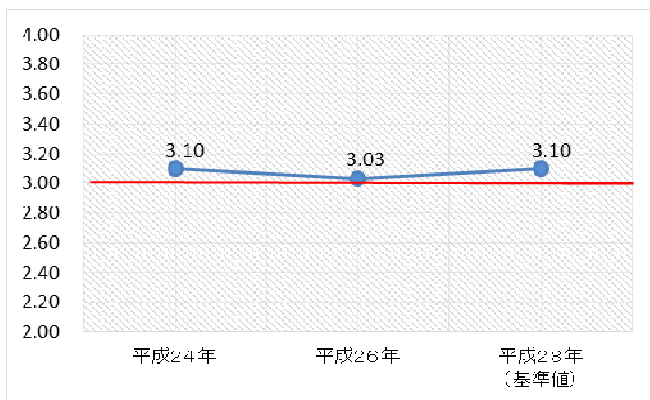
第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
9	114	男女共同参画社会	審議会などにおける女性委員の登用率	%	18.1 [H22]	25.0	23.3	未達成	審議会等所管課に女性委員の登用に努めるよう呼びかけたことにより、登用率は増加したものの、目標を達成することはできなかった。	各分野における方針決定過程への女性の参画を拡大するため、各種審議会、委員会などへの女性の登用を推進します。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：男女共同参画社会

- 男女共同参画意識づくり
- 男女が共に健やかに暮らし、安心して働ける環境づくり
- 男女共同参画の視点による人権の尊重と暴力のない社会づくり



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.15
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、ほぼ横ばい傾向にある。</p> <p>本年度策定する男女共同参画プランに基づき各種施策を展開することにより、満足度指数の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、5年間で0.05ポイントの上昇を見込み3.15とする。</p>	<p>・男女共同参画社会の実現に向け、「第3次佐久市男女共同参画プラン」に基づき、各種施策を総合的かつ計画的に推進します。</p> <p>・市内の各種団体が構成されている「佐久市男女共生ネットワーク」を支援するとともに、女性団体の設置支援や団体間の交流機会を拡充します。</p> <p>・働きたい人が性別に関わりなくその能力を十分に発揮できる社会づくりを推進するため、子ども・子育て支援の充実、育児休業の取得促進、多様な働き方の普及などにより、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進に努めます。</p> <p>・男女共同参画の視点に立ち、貧困、高齢、障がいなどにより困難を抱えた男女が安心して暮らせる環境の整備に努めます。</p>	

審議会意見	<p>・まずは市役所全体での男女共同参画への意識改革に取り組んで欲しい。</p> <p>・審議会への参加だけでなく、女性が活躍しやすい社会にしていくためにもワーク・ライフ・バランスの推進に努めて欲しい。</p>
-------	---

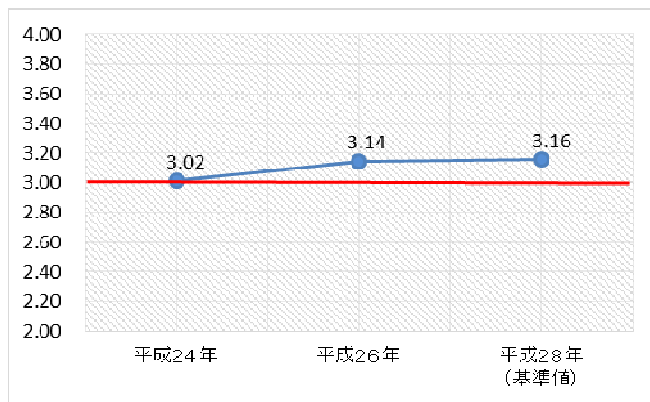
第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
10	122	学校教育	小学校不登校児童の割合	%	0.36 [H22]	0.32	0.61	未達成	不登校児童の減少のためスクールメンタルアドバイザーによる支援等に取り組んだが、家庭環境がより複雑になり、特に低学年において昼夜逆転等で生活リズムが乱れている児童が増加していることなどから、目標を達成することはできなかった。	いじめや不登校などについて気軽に相談できる体制整備を図るとともに、中間教室などによる指導体制の強化に努めます。
11			中学校不登校生徒の割合	%	3.24 [H22]	2.74	2.07	達成		

施策名：学校教育

- 学校教育施設の充実
- 教育内容の充実
- 特別支援教育、不登校対策の推進
- 学校給食の充実
- 児童生徒の保健管理と安全対策の推進

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.18
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平成26年に大きく上昇し、その後も上昇している。今後は、佐久市教育振興基本計画に掲げる学校教育の「目指す姿」の具現のために必要な施策を行い、満足度の上昇を目指す。目標値は、現在の水準を維持したうえで、5年間で+0.02を見込み3.18とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩村田小学校の改築と臼田地区新小学校の建設を推進します。 ・自立して社会を生き抜く力を育むため、「佐久市教育振興基本計画」に基づき各種施策を推進します。 ・学力の向上のため、学習指導方法の充実を図るとともに、学校と家庭が連携し、児童生徒が主体的に進められる家庭学習を促進します。 ・そこに暮らす人とのふれあいを通し、地域に根差した特色ある郷土教育の取組を推進します。 ・地域と学校が連携した子どもを育てる取組のさらなる充実のため、コミュニティスクールの体制づくりを推進します。 ・全ての児童生徒が給食を楽しみと思えるよう、献立や調理の工夫を図ります。 ・通学路などの安全点検を行い、地域や関係機関との連携を図りながら、危険箇所の改善に向けた取組を進めます。 		

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校児童の割合ではなく、不登校児童に対してどういうケアをしたかが重要であり、佐久市としてそういった対応の部分も評価して欲しい。 ・子ども、親といった当事者の視点、声を大切にして対応をして欲しい。
-------	--

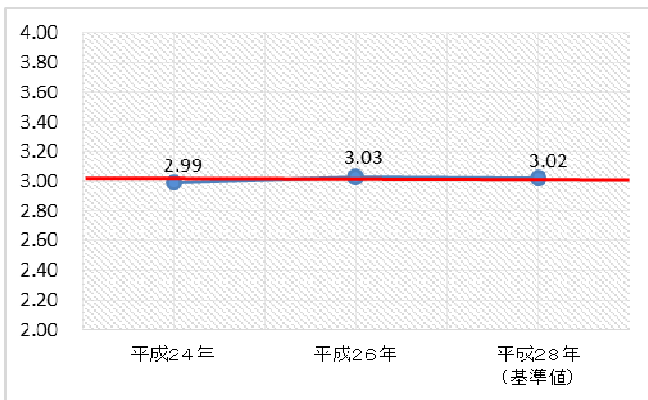
第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
12	123	高校教育・高等教育	奨学金制度利用者数	人/年	32 [H22]	40	100	達成	奨学金制度についてホームページへの掲載や高等学校を訪問し説明を行ったことにより、奨学金利用者数が増加し目標を達成することができた。	地域産業を担う人材の育成のため、佐久市奨学金貸与制度において償還金の一部免除を実施します。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：高校教育・高等教育

- 高校教育の充実
- 優秀な人材の育成



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.03
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、ほぼ平均値で横ばい傾向にある。</p> <p>今後は、佐久市奨学金制度において平成29年より償還金の一部免除を実施する等、施策の充実により満足度の維持を目指す。</p> <p>目標値は微増の3.03とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校と高校の連携強化のため、交流事業や体験活動などを推進します。 ・県立高校の再編に向けた動向を注視するとともに、高校教育を受けられる機会の拡充を促進します。 ・各種高等教育機関の充実や誘致に努め、多様な専門教育を受けられる機会の拡充を図ります。 ・各種高等教育機関との連携により、地域産業の活性化と、その担い手となる人材の育成を図ります。 	

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・奨学金の一部免除は、是非続けて行って欲しい。 ・子ども達が大学等卒業した後に佐久市に戻って来れるよう、働きたいと思える企業を増やす努力をして欲しい。
-------	--

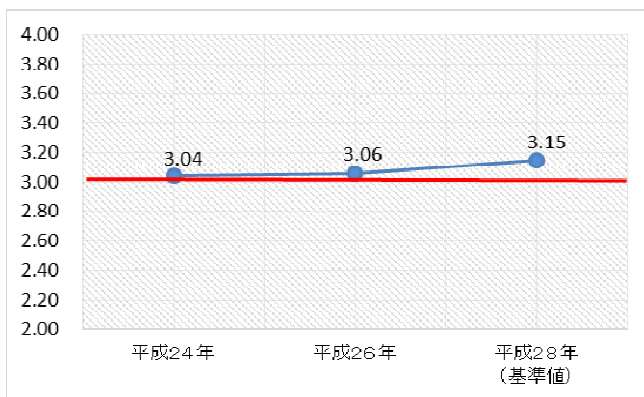
第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
13	124	青少年の健全育成	各地区の育成活動への延べ参加者数	人/年	183,139 [H22]	184,000	172,019	未達成	<p>地域ぐるみの青少年健全育成事業を実施している地区育成会に、地域体験活動補助金を交付するなど、活動を支援したが、年々児童数が減少しており、子どもの育成会活動への参加延べ人数は減少傾向となっており、目標を達成することができなかった。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を生かした地区育成会活動を促進するとともに、各種イベントの周知を図ります。 ・子どもの数が減少する中、近隣地区との共同開催による活動の実施を促すなど、開催方法を工夫し活動の充実を促進します。

施策名：青少年の健全育成

- 地域ぐるみの青少年育成
- 青少年研修事業の推進
- 交流・学習拠点施設の充実

市民アンケート満足度指数の推移



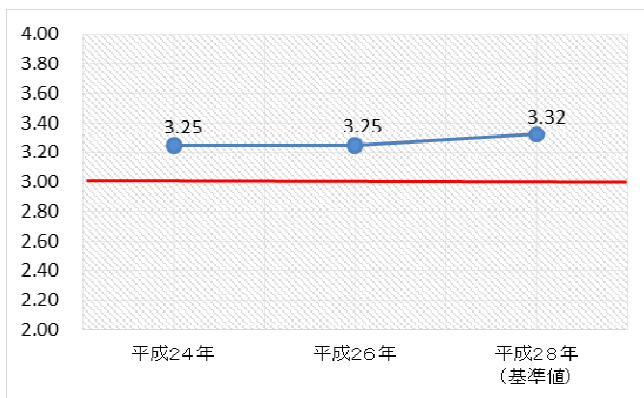
アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.20
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、上昇傾向にある。これは、地区育成会活動への支援により青少年育成活動件数の増加や、補導委員による街頭補導活動、子どもが多様な体験ができる研修事業等を実施したことによるものとする。</p> <p>今後は、少子化が進む中で、次代を担う人材を育成することがより一層重要となることから、地区育成会活動、補導活動、体験活動や海外研修等の事業を引き続き実施し、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、過去の上昇傾向を維持するため年+0.01を見込み3.20とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の中で自立した人材を育成するため、家庭、学校、地域、関係団体などとの連携を図るとともに、青少年健全育成市民集会などのイベント内容の充実と周知に努めます。 ・非行の未然防止と早期発見のため、街頭補導活動や少年相談、青少年に有害な地域環境の実態調査を実施するとともに、市内各店舗に青少年健全育成協力店の登録を促進します。 ・多くの青少年に異文化体験、自然体験、社会体験などの多彩な体験ができる研修事業に参加してもらえるよう、研修内容の充実を図るとともに、研修事業の魅力を発信します。 	

審議会意見	・単年の視点ではなく、全体の傾向や数値変化を踏まえた目標設定をしていって欲しい。
-------	--

第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
14	131	生涯学習	生涯学習市民のつどいなどのイベント延べ参加者数	人/年	31,394 [H22]	32,000	25,189	未達成	広報やホームページ、チラシ等により周知を図っているが、イベントについては講演の内容や、当日の天候などの影響があり、目標を達成することができなかった。	市民の生涯学習活動を促進するため、より効率的な生涯学習関連情報の発信に努めます。
15			公民館事業別延べ参加者数	人/年	37,106 [H22]	38,000	31,086	未達成	市民ニーズに即した講座を開催し、参加者数を増加させるため、毎年、講座の参加者へアンケートを実施し新規講座にも取り組んだが、参加者が固定化しており、新たに公民館事業に参加する方が伸び悩んだことから、目標値を達成することができなかった。	市民ニーズの把握に努め、多彩な講座を開催するとともに、男性や若年層も参加しやすい新規講座の開催を検討します。
16			図書などの貸出し冊数	冊/年	531,901 [H22]	600,000	554,531	未達成	平成26年7月の読書通帳の導入による市民の継続した読書活動の促進を行うとともに、平成27年11月からはインターネット予約も開始し、本を借りやすい環境づくりに努め貸出冊数は増加したが、目標を達成することができなかった。	・多様化する市民ニーズに対応した図書資料やサービスの充実に努めます。 ・移動図書館車の更新や市民ニーズを反映した巡回地域の見直しを進めます。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：生涯学習

- 生涯学習活動の活発化
- 生涯学習環境の充実
- 図書館サービスの充実

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.32
<p>満足度指数は、上昇傾向にあり、高い値となっている。これは、団塊の世代の退職に伴う生涯学習への関心の高まりに対し、様々な講座等の充実を図ったことによると考えられる。 今後も市民のニーズに合った各種講座の開催や、生涯学習環境の整備に努めることにより、平成28年度の3.32という高い満足度の維持を目指す。</p>		
<p>第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域での学習活動を指導するリーダーの確保と育成を推進します。 ・グループの活動や生涯学習リーダーバンクの情報を市広報紙や市ホームページなどにより提供するとともに、コーディネート機能の充実に努めます。 ・生涯学習施設の計画的な整備と機能の充実に努めます。 ・市立図書館の計画的な整備と機能の充実に努めます。 		

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・男性や若年層が参加しやすい講座の実施や、活動の周知に努めて欲しい。 ・中央図書館などの計画的な施設の整備なども検討して欲しい。
-------	---

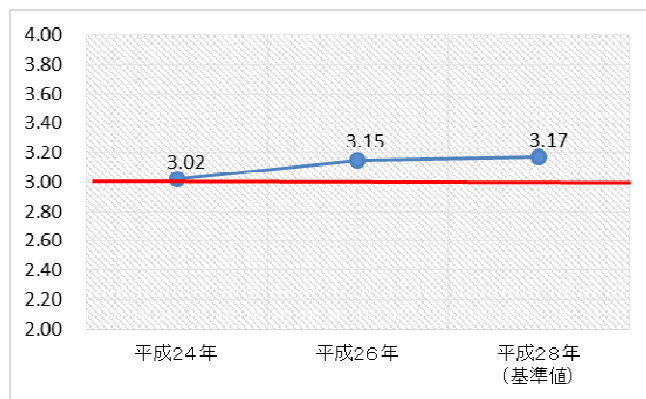
第1章 たくましく心豊かな人材の育成と地域文化の保存・継承と発祥(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
17	132	スポーツ	スポーツ教室延べ参加者数	人/年	4,225 [H22]	5,000	5,217	達成	教室内容の改善や周知に力を入れたほか、教室数を増やしたことにより、目標を達成することができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツに親しむ環境づくりを推進するため、市民のニーズに応じたスポーツ大会や教室の充実を図ります。 ・佐久市体育協会やスポーツ推進委員と連携し、誰でも気軽にできる運動・スポーツの普及に努めます。
18			スポーツ大会延べ参加者数	人/年	15,912 [H22]	17,500	14,148	未達成	大会要項の見直し等の取組により、より参加しやすい大会運営を進めてきたが、目標を達成することができなかった。要因として、児童生徒の減少による子ども向け大会の参加者減が考えられる。	
19			体育施設延べ利用者数	人/年	631,300 [H22]	700,000	783,627	達成	佐久総合運動公園の認知度も上がり、施設の計画的改修などの利用者ニーズに則した改善が増加に繋がり、目標を上回ることができた。	

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：スポーツ

- 生涯スポーツ参加機会の充実
- 競技スポーツの振興
- 体育施設の充実



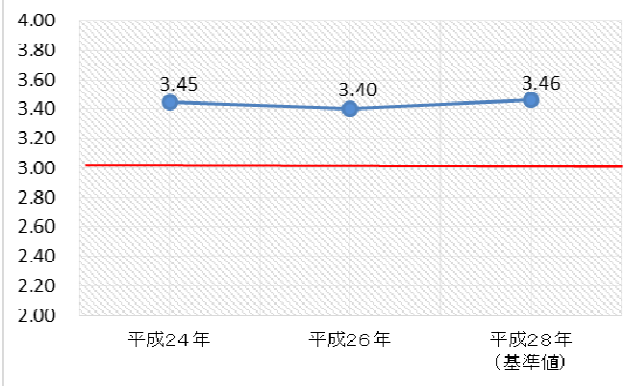
アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.30
<p>満足度指数は、平成26年に大きく上昇し、その後も上昇している。今後も生涯・競技スポーツの振興などに努めるとともに、東京オリンピック・パラリンピック開催による交流の推進などにより、目標値の上昇を目指す。目標値は、5年間で0.13ポイントの上昇を見込み3.30とする。</p>	<p>第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の健康づくり推進のため、週1回以上の運動・スポーツ実施率の向上を促進します。 ・身近で気軽にスポーツが行えるよう、地域のスポーツ活動を促進するとともに、佐久市体育協会、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団の育成を支援します。 ・全国大会などで活躍が期待できる競技者の育成や競技力の向上を目指し、佐久市体育協会や競技団体と連携して、優れた指導者の養成・確保を図ります。 ・東京オリンピック・パラリンピック事前合宿誘致を推進します。 ・老朽化した施設・設備の計画的な整備や機能の充実を図ります。 	

審議会意見	<p>・大会を誘致するなど、陸上競技場や新しい野球場の活用を推進して欲しい。また、大会などを開催する場合は、そのPRにも努めて欲しい。</p>
-------	---

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移					結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価			
20			長野新幹線の延伸 (長野ー金沢間の開業)		未開業 [H22]	開業	平成27年 3月14日 開業	達成	平成27年3月に金沢まで延伸開業され、目標を達成することができた。	北陸新幹線の全線開通は、首都圏や関西圏からの移動時間の短縮や、交流可能圏域の拡大が期待されることから、金沢・敦賀間の早期完成と大阪までの早期整備を促進します。	
21	211	高速交通ネットワーク	中部横断自動車道佐久南インターチェンジー八千穂インターチェンジ(仮称)間の開通		未開通 [H22]	開通	平成29年度の開通	未達成	建設促進の活動に取り組んできたが、目標とする平成28年度での開通は達成できなかった。この区間については、平成29年度中の開通予定と国土交通省より公表され、目標達成の目途がたつた。	経済活性化や救命救急医療への貢献、災害発生時の緊急輸送路としての機能などが期待される中部横断自動車道の早期全線開通実現に向けた要望活動を推進します。	
22			中部横断自動車道八千穂インターチェンジ(仮称)から長坂ジャンクション(仮称)間の整備計画格上げ		基本計画区間 [H22]	整備計画区間	未定	未達成	建設促進の活動に取り組んできたが、目標を達成することができなかった。国土交通省において、整備計画格上げまでの手続きで、地元調整等に時間を要していることが考えられる。		

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：高速交通ネットワーク

- 高速自動車道の整備促進
- 北陸新幹線の延伸促進
- 松本・佐久間の地域高規格道路建設促進
- 佐久平駅やインターチェンジの利用促進

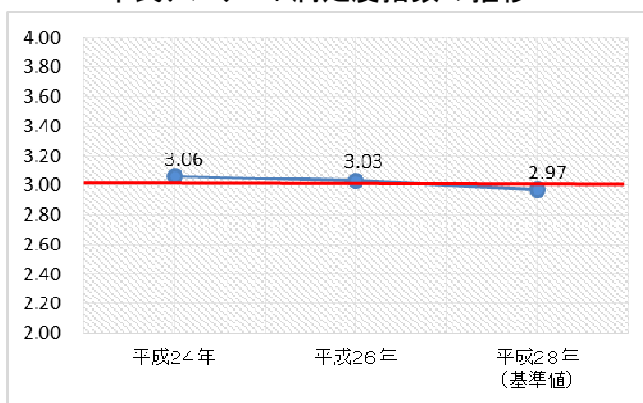
アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.48
<p>満足度指数は、ほぼ横ばいであるが、高い値を維持している。これは、北陸新幹線の金沢延伸、中部横断自動車道の利用増加などによるものと考えられる。今後は、高規格幹線道路の整備等を進めることにより、さらなる満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成29年度中に中部横断自動車道(仮称)八千穂ICまで開通予定であり、交通の利便性も高まることから+0.02を見込み、3.48とする。</p>	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中部横断自動車道を最大限に活用し、交流の拡大や産業の振興に資する取組を推進します。 ・ 県中央部を東西に結び、文化の交流や地域経済の発展に寄与する松本・佐久間の地域高規格道路の建設実現を促進します。 ・ 北陸新幹線佐久平駅の乗降客の増加と、さらなる利便性の向上に向けた取組を推進します。 	

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中部横断自動車道については、早期に全線開通するよう取り組んで欲しい。 ・ 観光振興に取り組むなど佐久市のPRに努めることにより、佐久平駅の新幹線停車本数の増加を推進して欲しい。
-------	---

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容	
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価			
23	212	地域交通ネットワーク	幹線道路整備延長	m	4,731 [H22]	8,231	10,419	達成	計画していた路線の整備が完了し、目標を達成することができた。	<ul style="list-style-type: none"> ・国道142号佐久南インターチェンジ以西の4車線化、国道141号浅茅大橋の4車線化、中佐都バイパスや県道上小田切臼田停車場線アクセス道路などの国道道の整備を促進します。 ・東西幹線第3期工区や長者原地区の道路のボトルネックの解消など、地域幹線道路の整備を推進します。 	
24			都市計画道路整備延長	m	59,527 [H22]	63,377	68,262	達成	中部横断自動車道の整備が進んだことにより、目標を達成することができた。		
25			アダプトシステム管理箇所数	箇所	3 [H22]	19	18	未達成	建設業者や地元区等を中心にアダプトシステム事業を呼び掛けたことにより、参加団体数は増加したものの、目標値には1団体達しなかった。		道路施設の管理について、アダプトシステムの普及を図ります。
26			公共交通延べ利用者数	人/年	113,538 [H22]	125,000	112,079	未達成	平成28年4月のダイヤ改正により、利用者ニーズにあった増便を行うことで、利用者の減少に歯止めをかけることはできたが、目標を達成することはできなかった。		<ul style="list-style-type: none"> ・高齢化社会や市民ニーズを踏まえ、将来にわたり持続可能で効果的・効率的な公共交通ネットワークの構築を推進します。 ・市民の身近な交通手段であるバスや鉄道などの相互の接続性の向上を図り、利用を促進します。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：地域交通ネットワーク

- 地域幹線道路網の整備
- 生活道路の整備充実
- 道路の計画的な維持管理
- 地域公共交通の維持・見直し
- 広域的公共交通機能の充実

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.00
<p>満足度指数は、下降傾向となっている。</p> <p>今後は、効果的な地域幹線道路網の整備や、計画的な道路の維持管理等を進めるとともに、地域公共交通の見直しによる交通機関の利便性の向上と運行の効率化を図ることにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、まずはこの5年間で0.03ポイント回復させ、平均値である3.00とする。</p>	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者の安全確保やユニバーサルデザインに配慮した歩道の整備を推進します。 ・危険性や緊急性の高い路線から計画的な拡幅整備を推進するとともに、路面性状調査に基づき計画的な舗装修繕を行い、維持管理を図ります。 ・橋梁は、定期的な点検により現状を把握し、維持補修や整備を計画的に推進します。 ・地域間をつなぐ民間事業者による生活路線バスについて、関係自治体と連携し、維持存続に努めます。

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・佐久市全体の発展を考えると、小海線を活用した施策を推進して欲しい。 ・地域公共交通については、10月からの新しいダイヤとなったが、これからも学生や高齢者といった利用者のニーズを反映したものとなるよう努めて欲しい。
-------	--

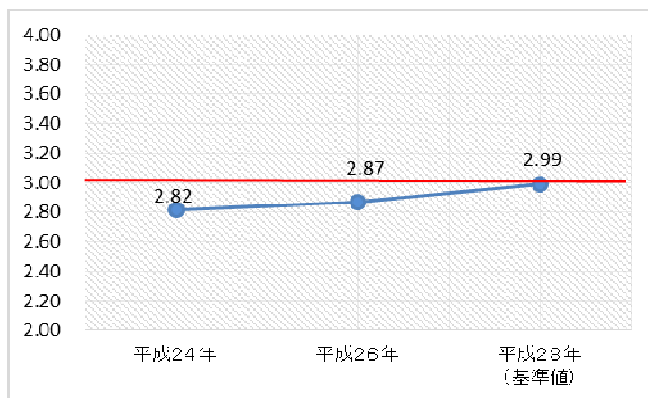
第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
27	221	土地利用	宅地面積	ha	2,337 [H21]	2,492	2,422	未達成	宅地への転換は進んでいるものの、経済情勢や人口減少などの影響により、目標値を達成することができなかった。	<ul style="list-style-type: none"> ・インターチェンジ周辺は産業振興のための土地利用を図るなど、市域全体の活性化に寄与する適切な土地利用の誘導を推進します。 ・工業用地や商業・業務系用地は、都市的土地利用と自然的・農業的土地利用との調和と適正配置に配慮しつつ、産業の活性化を促進する土地利用を推進します。

施策名：土地利用

- 秩序ある土地利用の推進
- バランス良い都市構造の再構築
- 土地需要の調整と適正な土地利用の誘導
- 国土調査の推進

市民アンケート満足度指数の推移



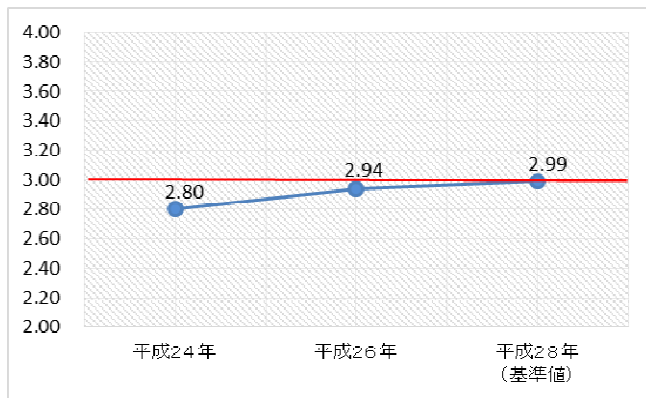
アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.00
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、H24からの4年間で0.17ポイント上昇している。</p> <p>第二次国土利用計画(佐久市計画)による適切な土地利用を推進することとしているが、その効果を得るには時間がかかるため、平均値である3.00を目標値とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・第二次国土利用計画(佐久市計画)や各種土地利用に関する計画に沿った秩序ある土地利用を推進します。 ・人口減少を踏まえ、それぞれの地域の特徴を生かした機能集約型の土地利用を推進し、各拠点の活性化を図ります。 ・各地域の特徴を生かし、相乗効果による発展を促進するため、地域間を結ぶ道路や公共交通などによる円滑なネットワークの構築を図る土地利用を推進します。 ・無秩序な農地の転用を抑制し、優良農地の保全に努めます。 ・関係機関と連携し、国土調査を着実に推進します。 	

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・山間部などにおいて増えている荒廃農地の活用を進めて欲しい。 ・高速道路IC周辺などの新たな開発も重要であるが、佐久市全体を考えた土地利用を推進して欲しい。
-------	---

第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
28	222	市街地	跡部臼田線・龍岡城駅線の整備率	%	0.4 [H22]	100	78.24	未達成	龍岡城駅線は、H27に完成したものの、跡部臼田線は、用地取得の難航により、目標達成とならなかった。	居住機能・都市機能の適切な誘導により、魅力ある市街地の形成を推進します。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：市街地

- 良好な市街地の形成

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.04
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、上昇傾向にあるが、平均点を前に上昇幅は小さくなっている。立地適正化計画に基づく居住機能と都市機能の適切な誘導や樋橋地区における土地区画整理事業による市街地整備などにより、満足度指数の上昇を目指す。上昇幅は、平均値に近づくにつれ小さくなっていることから、5年間で0.05の上昇を目標とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画区域や用途地域の指定に基づき、無秩序な市街地の拡散を抑制するなど、適正な土地利用を推進します。 ・計画的な市街地整備を推進するため、民間開発の適切な誘導を図ります。 ・秩序ある市街地整備のため、土地区画整理事業の導入を推進します。 ・樋橋地区においては、佐久平駅周辺や岩村田地区と連携し、本市の中心市街地として整備を図るとともに、佐久広域圏の拠点地域として都市機能を高める土地利用を推進し、地域間交流の中心地として魅力の向上を図ります。 ・佐久臼田インターチェンジの周辺においては、地域の良好な環境の形成や保持のため、特定用途制限地域の指定に向けた取組を推進します。 	

審議会意見	・今後も引き続き施策の充実に取り組んでもらいたい。
-------	---------------------------

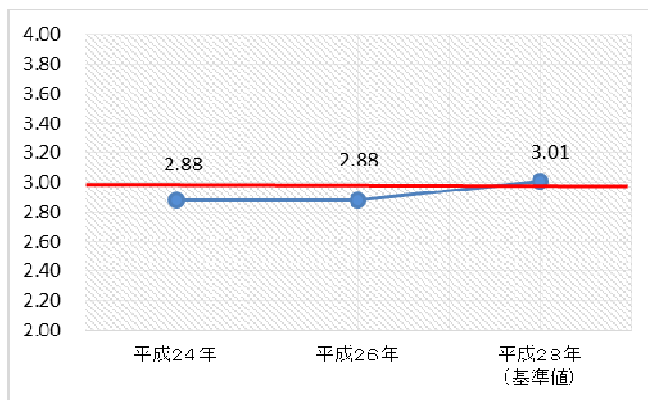
第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
29	223	住宅・宅地	住宅マスタープランの策定		未策定 [H22]	策定	部分的策定	未達成	住宅マスタープランに関わる各種計画等の見直しを行い、佐久市公営住宅長寿命化計画や、佐久市無居住家屋等対策計画の策定を優先したことにより、目標を達成することができなかった。	佐久市公営住宅長寿命化計画に基づき適切な住宅戸数を検討し、計画的な整備と管理を推進します。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：住宅・宅地

- 総合的な住宅施策の方針策定
- 公営住宅の整備と管理
- 住宅・宅地の適正供給
- 質が高く安全な住環境の整備や空き家対策の充実
- 耐震改修の促進



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.01
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平成28年に0.12上昇したが、人口が減少して行くことが見込まれる中、公営住宅については財政状況も勘案し建替えの抑制や統廃合等を進める必要がある。また、民間住宅については空き家の増加が予測されており、それに伴い政府も新築住宅の優遇政策から中古住宅の流通促進へと政策をシフトする見込みである。こうしたことから、満足度は下降傾向が見込まれるものの、公営住宅の長寿命化施策や、空き家等の調査に基づく適正管理・利用拡大などの抑制促進、住環境整備の支援策の推進により満足度は現状維持を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住宅関連事業者との連携による情報提供により、空き家の市場流通を促進します。 ・ 特定空き家等の発生予防のため、所有者に対する情報の提供や助言などにより、適切な管理を促進します。 ・ 良好な景観と住環境の形成を図るため、住民主体の住民協定などの締結を促進します。 ・ 昭和56年5月31日以前に着工した木造一戸建て住宅の耐震改修を促進します。 		

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特に山間部では、移住者が空き家に入ってくれることによって、地域の活性化につながっていることから、今後も空き家対策を推進して欲しい。 ・ 将来を見据えて、地域ごとに特色を出した開発を進めて欲しい。 ・ 住宅環境の整備として、生活道路の整備も推進して欲しい。
-------	---

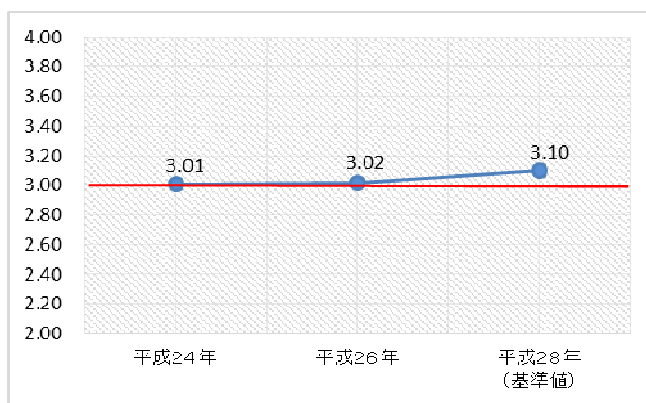
第2章 ネットワークで築く地域の個性・特色を生かした多機能都市づくり(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
30	231	高度情報通信ネットワーク	電子申請の件数	件/年	289 [H22]	500	924	達成	佐久市結婚支援事業やパパママ教室、離乳食教室といった若い世代が参加する事業等で電子申請を導入したことにより、目標を達成することができた。	市民生活の利便性と行政サービスの質の向上を図るため、ながの電子申請・届出システム利用者の増加を図るとともに、自治体クラウドへの参加を検討します。

施策名：高度情報通信ネットワーク

- 地域情報化の推進
- 情報提供・情報発信の充実
- 行政・市民サービスの情報化
- 情報セキュリティ管理

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠

満足度指数は、上昇傾向にある。今後も、情報通信ネットワークを活用した住民サービスは、高度化かつ多様化が進むと予想されることから、効果的に情報技術を活用したサービスを導入することにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、過去4年間で0.09上昇していることから、年+0.02を見込み3.20とする。

第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)

3.20

第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)

- ・ 市民生活の利便性と行政サービスの質の向上を図るため、ICTの利活用を推進します。
- ・ 観光や防災の拠点などにおける来訪者や住民の情報収集などの利便性を高めるため、公衆無線LANの整備を推進します。
- ・ 佐久ケーブルテレビ、エフエム佐久平と連携し、即時性の高い情報を取得できる環境整備を推進するとともに、佐久ケーブルテレビへの加入を促進します。
- ・ マイナンバー制度の運用開始などを踏まえ、情報流出防止や外部からの不正アクセスを防御する情報ネットワークの整備と充実を図り、情報資産の安全を確保します。

審議会意見

・ 広報紙や回覧板など紙で配布しているものについて、財政的に見ても紙に代わる媒体への対応も検討して欲しい。

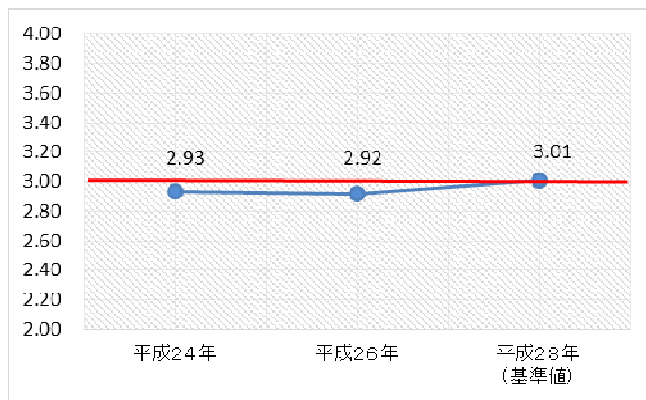
第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
31	311 農業		認定農業者数	経営体	268 [H22]	310	309	未達成	認定農業者に対する優遇措置の拡大等により、概ね目標どおり認定農業者は増加した。	各地域の人・農地プランに基づき、中心的な担い手への農地の集積、経営規模の拡大、営農組織化など、地域の特徴を生かした農業経営基盤の確立を促進します
32			農業アシスタント数	人	20 [H22]	70	101	達成	広報紙等による周知の結果、新規受講者、リピーターとも堅調に推移し、アシスタント数は目標値以上に養成された。	U・J・Iターンなどの新規就農者、農業後継者の確保・育成を図るほか、就農による定住を促進するための支援体制の充実を図ります。
33			農業法人数	法人	16 [H22]	20	24	達成	法人化のメリットの周知等により、認定農業者を中心に経営規模拡大、安定のための法人化の必要性が浸透しつつあり、目標を達成することができた。	各地域の人・農地プランに基づき、中心的な担い手への農地の集積、経営規模の拡大、営農組織化など、地域の特徴を生かした農業経営基盤の確立を促進します
34			農畜産物産出額	億円/年	108 [H18]	110	データ入手不可能	評価不能	(本項目は、国が市町村別の統計調査を行っていたが、平成18年度調査を最後に調査が行われなくなった。現在、全国市長会を通じて、国に対し、調査の復活の要望を行っている。)	・トップセールスを始めとする様々な取組により、農産物の販路拡大・消費拡大を推進します。 ・加工・販売施設整備に対する支援などにより畜産経営の安定を図るとともに、飼料用イネや堆肥の活用などによる耕畜連携のサイクルの確立を図ります。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：農業

- 農業経営構造の確立
- 優良農地の保全
- 農業生産の振興と食料の安定供給の確保
- 農業・農村の多面的機能（食文化の形成・伝承など）の向上
- 農業基盤（水路や農道）整備の推進
- 農商工連携による地産地消の推進



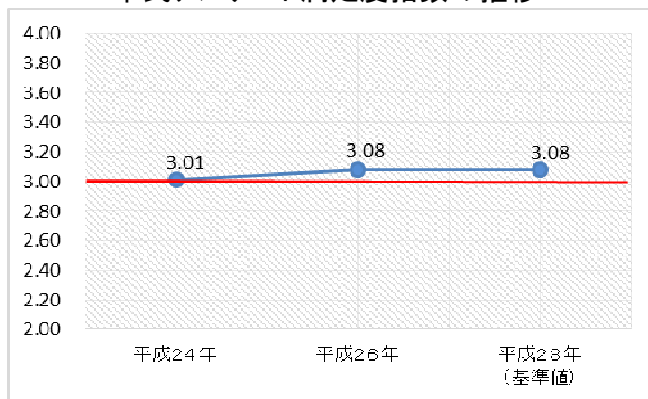
アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.11
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平成28年に0.09上昇している。</p> <p>今後は、新農業振興ビジョンに基づき、担い手の経営基盤の強化、農地の利用集積、安心安全な食料供給、農村の振興等に積極的に取り組み、農家や市民の満足度の向上を目指す。</p> <p>目標値は、過去4年間の伸び率(年+0.02)が継続することを見込み、3.11とする。</p>	<p>・農地中間管理事業の活用などにより、貸し手・借り手間の農地の流動化を促進し、農地の利用集積と作物ごとの団地化・集約化を進めます。</p> <p>・荒廃農地対策として、補助事業の活用などにより、荒廃農地の再生・利用を促進します。</p> <p>・佐久市のブランド野菜や産地の育成を図るとともに、農業用施設の整備などを支援します。</p> <p>・佐久市の風土や特徴を生かした新たな作物、栽培方法を検証し、農産物のブランド化や米の生産調整を推進します。</p> <p>・学校給食での食育と地産地消を図るため、市内で生産された農産物を小中学校に提供する学校給食応援団の活動を推進します。</p>	

審議会意見	<p>・地域の特徴や良さを生かした農業を推進するとともに、荒廃農地の活用も推進して欲しい。</p> <p>・給食応援団については、農業振興、地産地消、食育それぞれの目的を考慮してバランスよく展開をして欲しい。</p> <p>・新規雇用を生み、空き家対策、農地対策にもつながることから、空き家や農地の紹介など、都会からの新規就農者の支援に取り組んで欲しい。</p>
-------	---

第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
35	312	水産業	佐久鯉出荷量	t/年	110 [H22]	115	80	未達成	鯉の消費の拡大を図るため、パンフレットの作成や新たな食べ方の提案など、新しい取組を始めているものの、日常的に鯉を食べる人は年々減少しており、目標を達成することができなかった。	佐久鯉のブランド力の強化に向けた関係者の意見集約を図るとともに、鯉の持つ栄養価の高さなどの特徴を生かした機能性食品としての高付加価値化や、千曲川の清流で育つなどのイメージを生かしたブランド力の強化を促進します。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：水産業

- 内水面漁業（淡水での漁業）の振興
- 佐久鯉のブランド化促進及び商業・観光業と連携した水産業の多面的な振興

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.18
満足度指数は、横ばいである。今後は、これまでの内水面漁業振興に加え、平成29年度から鮎に対する振興策を着実に進めていくことにより満足度指数の上昇を目指す。目標値は、過去4年間の伸び率(年+0.02)が継続することを見込み、3.18とする。	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・水産試験場などと連携し、信州サーモンなどの新魚種の生産拡大を促進します。 ・地域文化の継承につながるフナの水田養殖について、農業との連携を促進するとともに、担い手の確保、持続可能な生産流通体制の構築を図ります ・市ホームページなどの多様なメディアの活用により佐久鯉、シナノユキマス、信州サーモン、ニジマスなどのPRを積極的に行い、消費拡大を図ります。 	

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・鮎や佐久鯉の生産現場の状況を良く把握し、的を絞って施策に取り組んで欲しい。 ・幼いころから鯉や鮎に親しんでもらえるような取組を実施して欲しい。
-------	---

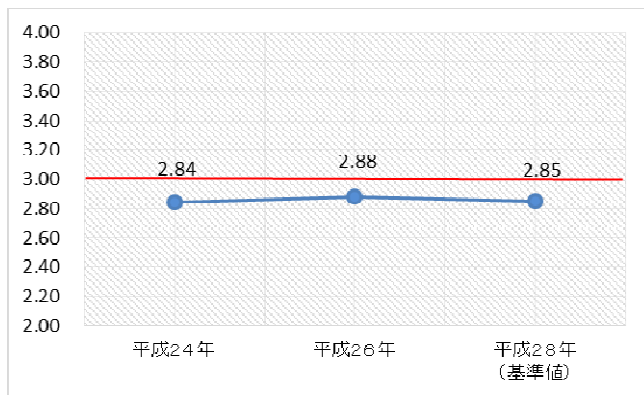
第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
36	313	林業	森林整備面積(間伐分)	ha/年	610 [H22]	780	75	未達成	当初、間伐を計画していた森林について、県の指導により、成熟期を迎えた森林については間伐から主伐(皆伐)へ移行されたため、目標を達成することができなかった。	林道の整備や森林施業の共同化・機械化を促進し、生産性の向上・森林整備の効率化を図ります。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：林業

- 林業生産の振興
- 森林の保全
- 森林の多面的機能(健康づくりや観光、レクリエーションなど)の活用



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	2.90
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平均値よりも低い値で、横ばい傾向である。素材生産が増加しているにもかかわらずこのような傾向にあるのは、木材利用量に対する市民の関心が薄くなっていることによるものと考えられる。</p> <p>今後は、地元産材であるカラマツなどを公共施設などに活用し、地元産材の利用の促進や、多くの人に木の温もりを身近で感じてもらう関心を高めることにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、年+0.01を見込み2.90とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 林業事業者などの経営体制の強化を図り、林業従事者の育成・確保、就業環境の向上などを促進します。 ・ 地元産材であるカラマツ材などの公共施設・住宅などへの積極的な活用を促進します。 ・ 保安林改良事業の活用や、適正な間伐・枝打ちなどにより、針葉樹と広葉樹が適度に混交した多様な森林づくりを推進します。 ・ 森林病害虫、有害鳥獣などによる森林被害の予防・防止を適切に行い、健全な森林の保全を図ります。 ・ 治山・治水事業の計画的な導入により、災害に強い森林の維持を図ります。 ・ 森林セラピーやレクリエーション事業との連携により、観光客との交流を促進するなど、交流人口の増加を図ります。 	

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代交代により、私有林の境界が不明確になるなどの問題が起きていることから、私有林の把握と整備を促進して欲しい。 ・ 雇用を生み出す資源として、森林を生かして欲しい。 ・ 自然を生かした地域づくりにより選ばれるまちを目指して欲しい。 ・ 松くい虫対策を推進して欲しい。
-------	--

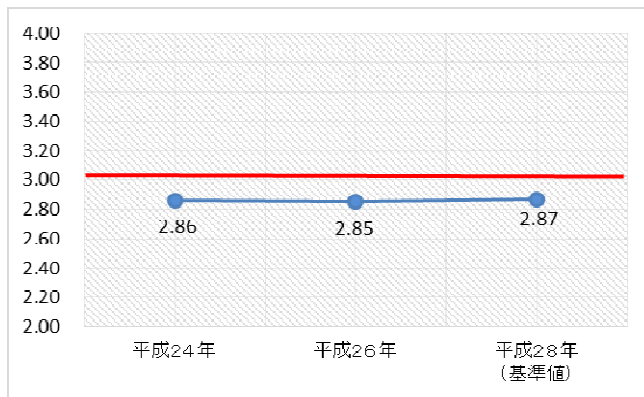
第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
37	321	商業・サービス業	商品販売額	億円/年	1,994 [H19]	2,100	公表前直近H26 1,785	未達成見込み	経済センサの実施時期により、平成27、28の実績値は現在公表されていない。平成20年のリーマンショックなどの影響により、販売額は大きく減少したあと回復基調にある。空き店舗対策や、地域資源を生かした商品の開発への支援など行っているが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。(H27商業統計調査は、H28経済センサ実施に伴い中止。H27実績は、H28経済センサ(H29.12公表予定)で把握可能)	販路の拡大、積極的なPR、ネットワークの構築に努め、集客力の向上と販売力の強化を支援します。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：商業・サービス業

- 商業経営の体質強化
- 魅力ある商店街の形成
- 商業立地のバランスと利便性の確保
- 流通・サービス業の振興
- 新たな商品開発とブランド化の促進



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.00
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平均の3.00を下回り、ほぼ横ばいである。今後は、中心市街地活性化基本計画策定による商業振興を図ることにより、平均値である3.00を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中小企業者への経営支援のため、中小企業者の資金需要に対して、迅速に対応します。 ・ 社会経済情勢の変化に柔軟に対応し、商店経営の近代化を促進するため、経営者・後継者育成事業の強化に努めます。 ・ 商店会組織の機能強化を促進するとともに、街おこし事業、活性化事業を支援します。 ・ 商店街の魅力を高めるため、空き店舗の解消と環境整備を支援します。 ・ 佐久市中心市街地活性化基本計画に基づき、市民、事業者など一体となって、にぎわいと魅力がある中心市街地の形成を図ります。 ・ 既存商店街と地域の活性化に配慮した商業集積を図ります。 ・ 「健康長寿」などの地域の特徴を生かした新たな商品開発を支援することで、魅力ある商品のブランド化を推進します。 		

審議会意見	・ 商店街は高齢化などにより、後継者、担い手不足が問題となっており、後継者の育成や若者たちの起業支援にも取り組んで欲しい。
-------	---

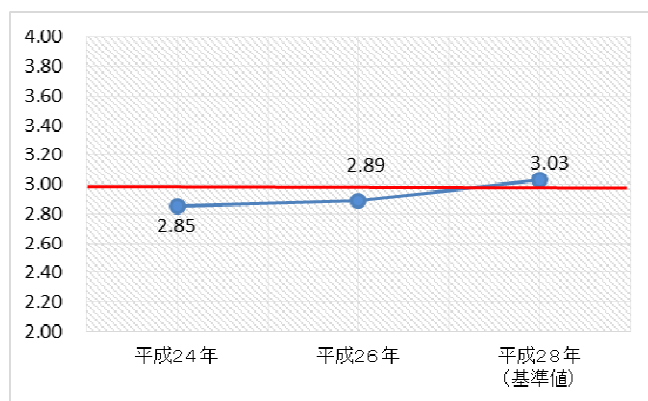
第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
38	331	観光	市内への延べ入込客数	万人/年	162 [H22]	190	公表前直近H27 157	未達成見込み	平成28年度の実績値の公表はまだされていない。 新たなイベントによる仕掛けや観光地を掲載したパンフレット「信州佐久」を市内外のイベントで配布したり、関東圏などに配置し誘客を図ったが、目標の達成は難しいと見込まれる。 軽井沢で起きたバス事故によりバスツアーの客離れが進んだ事なども要因として考えられるほか人口減により観光地への入込も横ばい傾向となっている。	・佐久バルーンフェスティバルや望月駒の里草競馬大会などの各種イベントの充実を図るとともに、地域が主体となったイベント運営を促進します。 ・ニューツーリズムや地域資源である山、川、渓谷、文化、街道、スポーツなどを複合的に活用し、中長期的に期間滞在する体験型・着地型観光を推進します。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：観光

- 観光振興施策の推進
- 観光基盤の整備
- 観光の情報発信
- 農林水産業や商工業との連携による体験型観光や土産品の開発の促進



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.15
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、上昇傾向にあり、平成28年には平均である3.00を超えた。これは、関係都市などのイベント参加や新聞雑誌などの観光誘客宣伝などを強力に進めてきたことによるものとする。</p> <p>今後は、インターネットなどによる情報発信や、広域連携を図ることによる魅力の向上を進めることにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、過去の伸び率から+0.12の伸びを見込み3.15とする。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と連携し、周辺観光地との周遊コースの構築など、広域観光ルートの創出を図ります。 ・中部横断自動車道の開通を見据え、佐久平スマートインターチェンジに隣接する佐久市温水利用型健康運動施設や佐久南インターチェンジに隣接する佐久南交流拠点施設などを活用したさらなる観光交流を推進します。 ・訪日外国人旅行者数の増加傾向を踏まえ、インバウンド対応ができる観光地づくりについて検討します。 ・観光拠点である平尾山公園、春日温泉などの既存観光施設の整備・充実を図ります。 ・中山道などの歴史・文化遺産をネットワーク化した観光ルートの構築を推進します。 ・映画などの撮影場所の誘致や、撮影を支援する民間主体の組織づくりを進め、誘客や地域活性化に努めます。 ・市内観光施設における観光インフォメーション機能の充実を図ります。 		

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・観光協会とも連携し、観光資源を結ぶネットワークの構築に取り組んで欲しい。 ・企業にストレスチェックが義務付けられたことから、森林セラピーなどの活用を促進して欲しい。 ・観光資源、イベントのアピール方法を工夫して欲しい。
-------	--

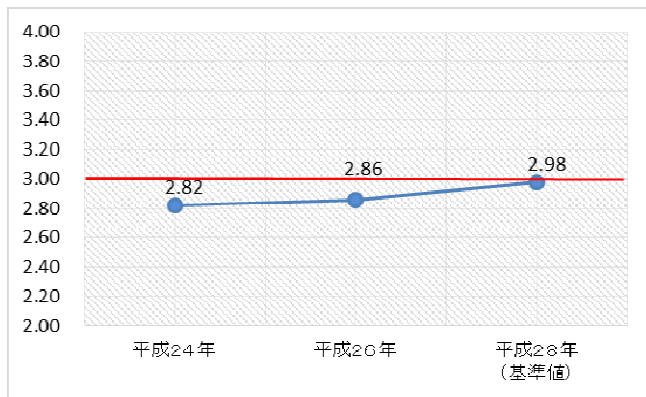
第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
39	341	工業	製造品出荷額	億円/年	2,061 [H22]	2,500	公表前直近H26 1,951	未達成見込み	<p>経済センサの実施時期により、平成27、28の実績値は現在公表されていない。 平成26年度時点では若干の減少となった。各種補助事業の活用の促進等を行っているが、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。 (H27工業統計調査は、H28経済センサ実施に伴い中止。H27実績は、H28経済センサ(H29.12公表予定)で把握可能)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新製品などの開発支援のため、関係機関や大学などとの連携や地域間連携を促進します。 ・「健康長寿」などの地域の特徴を生かした製品の開発や海外を視野に入れた販路の拡大を推進します。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：工業

- ものづくり産業の育成
- 工業基盤の整備と活用
- 企業誘致の推進
- 農業・観光施策との連携、異業種連携、大学との連携の促進
- 高度な技術や能力を持った人材の育成



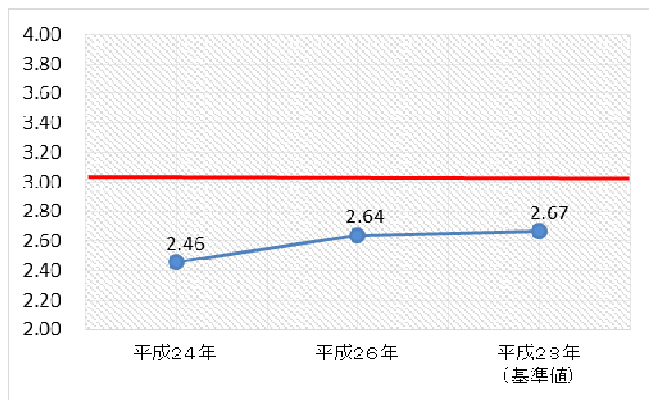
アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.10
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平均値を下回っているが、上昇傾向にある。 今後は、健康長寿産業振興ビジョンに基づく施策展開をすることにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、平成24年から28年までの4年間で0.16上昇しており、今後も上昇傾向を持続させるため5年間で+0.12を見込み、3.10とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・商工団体など関係機関と連携し、工業振興の具体的戦略である佐久市健康長寿産業振興ビジョンに基づき工業振興を図ります。 ・市内の経済・雇用を支えるものづくり企業への経営支援事業などの拡充を図ります。 ・高速交通網の整備など本市の優れた立地条件などを生かし、企業が求める立地条件に対応できる工業用地の整備を進めます。 ・本市の優れた立地条件などを広く発信し、企業誘致を推進します。 ・地域の特徴である「健康長寿」を生かした産業の確立のため、佐久市健康長寿産業振興推進協議会において、商工団体や医療、福祉などの関係機関の連携を図ります。 	

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・地域全体の活性化を考え、アクセス道路の整備も含め工業団地の整備は計画的に早く進めて欲しい。
-------	--

第3章 100万経済圏を目指した産業基盤の強化と新たな産業の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
40	351	就労・雇用	就職相談会参加者数	人/年	113 [H22]	130	153	達成	就職相談会等の開催数を増やし、就職支援員の学校訪問等によりイベントの周知を強化したため、目標を達成することができた。	関係機関との連携を図る中で、就職ガイダンスを開催し、求人情報の積極的な収集・提供に努めます。
41			インターンシップ実施学生数	人/年	7 [H22]	15	17	達成	事業所や、学校に事業の周知を行い、受入事業所が増加し、学生のニーズにも対応できたことにより、目標を達成することができた。	将来の技術者などの確保のために、就職支援員による企業側への積極的な受入れの呼びかけや受入れに対する支援などにより、インターンシップ事業の促進を図ります。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：就労・雇用

- 雇用機会の確保・創出
- 労働力の確保
- 勤労者福祉の充実

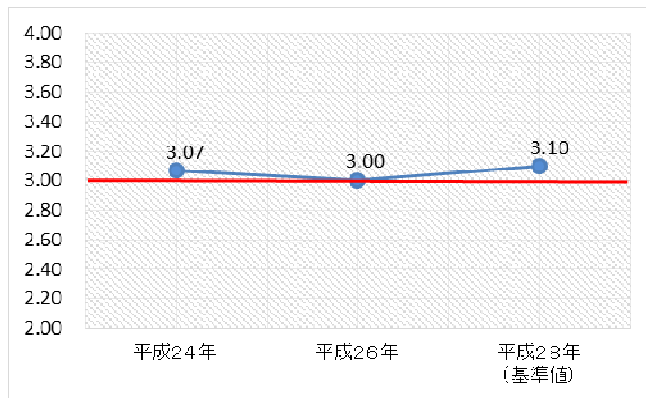
アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	2.80
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平均値を下回っているものの、上昇傾向にある。 今後は、就職相談会や首都圏における企業PR、インターンシップ実施学生に対する支援策などにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、平成24年から28年までの4年間で0.21上昇していることから、今後も上昇を見込み2.80とする。</p>		
<ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致やU・J・Iターン施策の推進などにより、雇用機会の確保を図ります。 ・佐久公共職業安定所などの関係機関と連携するとともに、移住者などに対する無料職業紹介(地方版ハローワーク)を行い、就職情報の提供、相談に努めます。 ・関係機関と連携を図り、障がい者などの雇用の促進を図ります。 ・市外の情報サービス業者などが都市部に居住せずに市内で遠隔地勤務(サテライトオフィス、テレワーク)できる環境づくりを支援することで、市内での就業の創出を促進します ・企業と連携し、仕事と育児などの生活を両立できるワーク・ライフ・バランスの整った労働環境の整備を促進します。 		

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・人口増加のためにも企業の積極的な誘致に取り組んで欲しい。 ・東京などからのU・J・Iターンの促進に取り組んで欲しい。
-------	--

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
42	411	福祉のまちづくり	福祉体験教室開催回数	回/年	14 [H22]	16	41	達成	市内の学校(小・中・高)に対し、佐久市社会福祉協議会が社会福祉普及校指定事業制度(補助額上限3万円)により助成するとともに、地域の実情に合わせ、特性を生かした活動内容の提案・情報提供といったサポートを行うなど、学校の負担の軽減に努めたところ、目標値を大きく上回ることができた。	市内の小・中・高校生を対象とした福祉体験学習などを充実し、福祉の心を育てる教育を推進します。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：福祉のまちづくり

- 障がいのあるなしにかかわらず支え合える地域福祉の推進
- 福祉に関するボランティア活動の促進
- 障がい者や高齢者の社会参加の促進

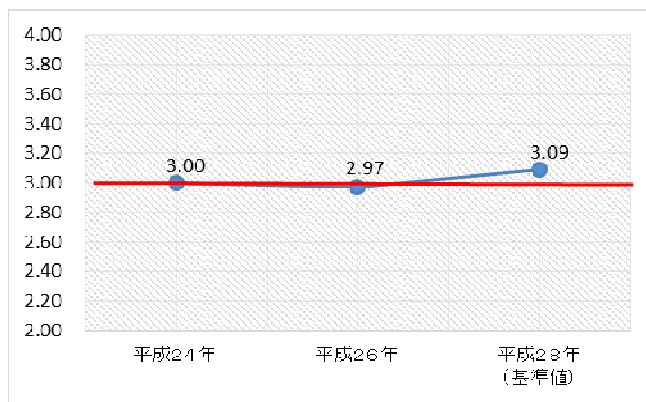
アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.15
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平成26年に平均点まで下降したが、平成28年は0.1上昇した。今後は、第三次佐久市地域福祉計画を策定し、市民の社会福祉意識の高揚を図るとともに、社会福祉協議会や民生児童委員など関係機関との協働により、地域コミュニティを育成し、市民満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成24年から28年の4年間で0.03上昇していることから、今後5年間で0.05の上昇を目指す。</p>	<p>・第三次佐久市地域福祉計画を策定し、市民の社会福祉意識の高揚と、地域コミュニティの育成を図るとともに、地域住民と関係機関との協働により、総合的な地域福祉ネットワークの充実を図ります。</p> <p>・社会福祉協議会、NPOなどと連携し、ボランティアを育成するとともに、組織の充実と活動を促進します。</p> <p>・全ての人々が地域で安心して暮らすことができるよう、ユニバーサルデザインの視点による公共施設などの整備や改修を推進します。</p>	

審議会意見	<p>・福祉体験教室では、子ども達がいきいきしていてとても良い事業であることから、今後も多くの子どもが参加できるよう取り組んで欲しい。</p> <p>・高齢者や障がい者、その介護者を対象とした事業やイベントについて、参加する人に合わせた周知方法などを検討し、多くの人が参加できるよう取り組んで欲しい。</p>
-------	--

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
43	412	高齢者福祉・介護保険	介護予防事業の延べ参加者数	人/年	19,095 [H22]	23,500	22,399	未達成	事業の重要性の周知などにより、参加者数は増加したが、平成28年度の介護保険制度の改正に伴う事業見直しに併せ、市と民間事業者とのサービス提供区分を見直したことにより、市で実施している介護予防事業から地域事業所で実施している介護予防教室等への移行者があったことから、目標を達成することができなかった。	高齢者のいきがい対策事業、生活支援事業、栄養や運動を中心とした介護予防事業などを推進します。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：高齢者福祉・介護保険

- 高齢者支援サービスの推進
- 高齢者福祉施設の整備
- 介護保険の適正な運営
- 成年後見制度の利用促進

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.10
<p>満足度指数は、平均値前後だったが、平成28年に0.12ポイント上昇した。これは、地域包括ケアシステムの構築、介護保険の適正な運営などにより、不満と回答した人の割合が減少したことによると考える。</p> <p>引き続き施策の推進に努めることにより、上昇した満足度指数の維持を目指す。</p> <p>目標値は、微増の3.10とする。</p>	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者が住み慣れた地域で、安心・安全に生活が継続できるよう、地域の特徴を生かした包括的支援事業を推進します。 ・在宅医療・介護の各分野の連携により、在宅医療24時間体制などの整備を促進します。 ・認知症高齢者を地域で見守り、支えていくため、「認知症にやさしい地域づくりネットワーク運営委員会」において地域の特徴に合わせた見守り体制を構築するとともに、引き続き認知症サポーターの養成などの認知症施策を推進します。 ・高齢者が自立した生活を送るため、高齢者自身がお互いに支え合うことのできる生活支援体制の整備を促進します。 ・介護保険法に基づき、適正な事業運営を推進します。 	

審議会意見	・今後も引き続き施策の充実に取り組んでもらいたい。
-------	---------------------------

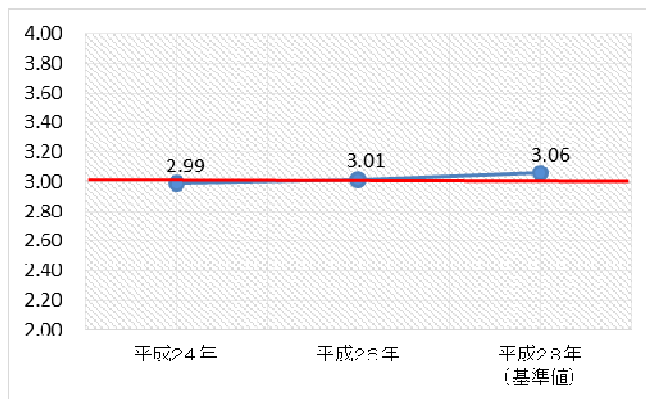
第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
44	413	障がい者福祉	相談支援事業実施事業所数	事業所	5 [H22]	20	15	未達成	事業の重要性等を周知したことにより、事業所数は増加したが、相談支援専門員の養成が困難なことなどにより、目標を達成することができなかった。	利用者のニーズに応じた適切な福祉サービスを提供することにより、障がい者が地域の一員として自立し、社会参加できる環境づくりを推進します。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：障がい者福祉

- 障がい者福祉サービスの充実
- 障がい児及び発達が気になる児童などに対する支援
- 障がい者施設の充実
- 障がい者の社会参加の支援



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.11
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平均値前後ではあるが、上昇傾向にある。</p> <p>今後も関係機関との連携による適切なサービス提供やきめ細やかな支援を行うことにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成24年から28年の4年間で0.07ポイント上昇していることから、今後も年+0.01ポイントの上昇を見込み3.11とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家族、地域、関係機関と行政が一体となり、障がい者が住み慣れた地域で安心して生活できる環境整備を進めます。 ・障がい者の自立した日常生活や社会参加のため、講座、教室、各種相談事業、就労支援などの充実に努めます。 ・障がいを理由とする差別に関する相談に的確に応じることができるよう、関係機関と連携し、必要な体制整備を図るとともに、障がいを理由とする差別の解消に向け、啓発を推進します。 ・関係機関と連携し、障がいの早期発見、早期支援とともに、家族支援を促進します。 ・グループホームなど、障がい者の地域生活の場の整備を支援します。 	

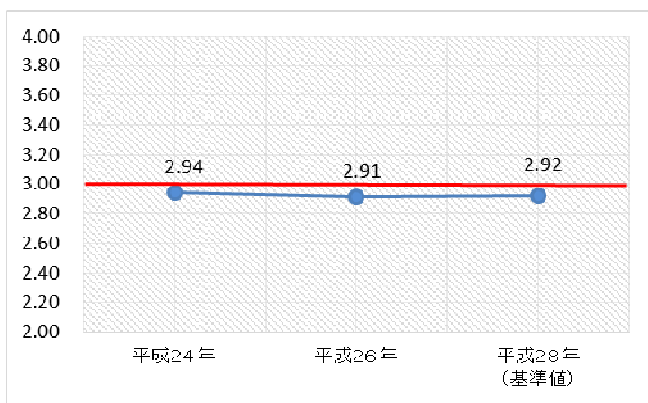
審議会意見	・今後も引き続き施策の充実に取り組んでもらいたい。
-------	---------------------------

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
45	414	母子父子福祉・低所得者福祉	高等技能訓練促進費・自立支援教育訓練給付金受給者数	人/年	4 [H22]	6	5	未達成	ひとり親家庭の親に対し制度の周知を行ってきたが、目標値を達成することができなかった。要因として、ひとり親家庭において子育てと訓練受講における時間及び生活費の確保、両立が図りにくい状況によるものと考えられる。	就業機会の拡大により経済的自立を図るため、高等職業訓練促進給付金、自立支援教育訓練給付金、高等学校卒業程度認定試験合格支援給付金などの活用を促進します。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：母子父子福祉・低所得者福祉
 ●母子・父子家庭福祉の充実
 ●低所得者福祉の充実



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)
満足度指数は、平均値より低い値で横ばい傾向にある。今後は、関係団体と連携し、子どもの居場所づくりのための支援の実施を検討するとともに、相談支援体制、日常生活支援のさらなる充実を図るなど、ひとり親家庭への支援の充実と、生活保障・自立支援の充実を図ることにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、平均値である3.00を目指すこととする。	3.00
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)	
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの居場所づくりのため、関係団体と連携して、食事の提供や学習支援の実施を検討します。 ・子ども特別対策推進員、母子・父子自立支援員、就業支援員などによる各種相談体制や日常生活支援の充実を図ります。 ・生活困窮者の経済的・社会的自立のため、関係機関や民生児童委員などと連携し、相談支援体制の充実を図ります。 	

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・必要とする方に情報が伝わるよう制度周知に取り組んで欲しい。 ・教育などの支援により、低所得から抜け出せるような支援を検討して欲しい。
-------	--

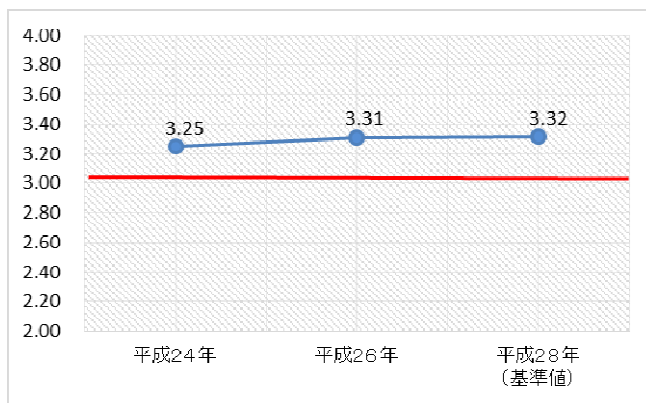
第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				最終評価	結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績				
46			ぴんころステーション延べ参加者数(市開催分)	人/年	1,715 [H22]	2,000	1,847	未達成	野沢山門市で実施していたステーションを栄養士会に委託したことや、地域集団健診の結果報告会での栄養指導が全て個別対応のみに内容変更になったことにより、参加者数は目標に達しなかったが、目的とする健康・栄養相談の場の確保はできていると考える。	地域における保健活動の主体となるよう、保健補導員や食生活改善推進員を育成するとともに、研修などを充実し、より一層地域の自主活動を促進します。	
47	421	健康増進	3歳児のむし歯保有率	%	26.71 [H22]	20.00	23.03	未達成	むし歯判定の基準について、長野県の通知により、平成25年度から「サホライド塗布歯」の扱いを、サホライド塗布の有無ではなく、脱灰の有無により判定をすることとなったため、むし歯保有率が平成24年度の20.89%から平成25年度には25.12%と、4.23%高くなった。対策として、平成28年度から「子どもの歯の教室」を、2歳児を対象を絞った「2歳児歯っぴー教室」として実施したが、短期間の取組で効果を得ることは困難であることから、目標を達成することができなかった。	乳幼児から高齢者までの各年代における歯や口腔の健康や疾病予防などの各種事業を実施し、市民の意識の高揚を図ります。	

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：健康増進

- 地域保健組織（保健補導員会など）の育成
- 健康づくり活動の推進
- 食育の推進
- 健康管理システムの整備



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.33
満足度指数は、他の施策と比べても高い値を維持している。 引き続き保健補導員や、食生活改善推進委員など、地域に根差す健康の担い手を地道に養成し、満足度の維持、向上を目指す。 目標値は、高い満足度を維持することを目指し、微増の3.33とする。	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)	
	<ul style="list-style-type: none"> 保健補導員が任期終了後も地域において自主活動ができるよう支援します。 健康に関する講演会や講座を開催し、市民の健康に対する意識の高揚を図ります。 地域が将来にわたって「健康長寿」であり続けられるよう、健康長寿のより一層の増進のための施策を推進するとともに、「健康長寿のまち」の魅力在国内やアジアを始めとする国外に発信します。 市民が生涯にわたり健康で暮らせるよう、市広報紙を通じ「食を大切に作る心を育む」ことについて啓発を図ります。 	

審議会意見	・素晴らしい取組をたくさん行っているが、市民が知らないということが多く感じる。事業の周知に努めて欲しい。
-------	--

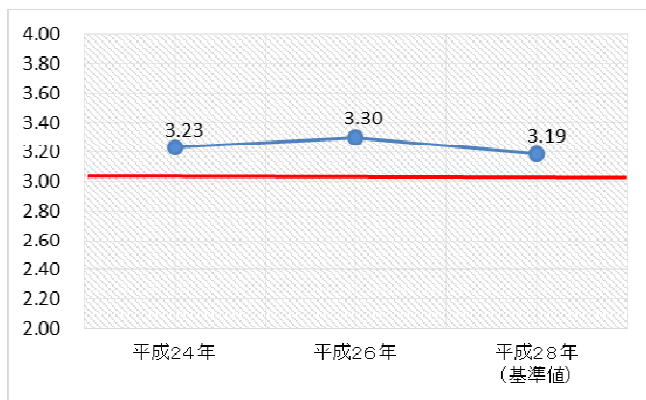
第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				最終評価	結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績				
48	422	保健活動	メタボリックシンドローム該当者・予備軍の割合	%	25.2 [H22]	15.2	公表前 直近H27 26.1	未達成	特定健診・特定保健指導の実績集計は、毎年、次年度の10月末に国保連の統計データから抽出されるため、現時点では算出されていない。ここ数年の傾向では、ほぼ横ばいながら微増傾向である。医療機関での個別健診や人間ドックなどの受診者に対しては、事後指導や特定保健指導の実施が難しいといった課題もあり、メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少まで至らず、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	喫煙、食生活、運動などの生活習慣を改善する一次予防活動や特定保健指導を中心に、保健指導の充実に努めます。	

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：保健活動

- 生活習慣病予防の推進
- 高齢者保健の充実
- 感染症予防対策の推進
- 精神保健の充実



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.24
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、他の施策に比べ高い値を維持しているが、平成28年は0.11下降している。</p> <p>これは「どちらでもない」と回答している方が増えていることから、取組自体が日常生活の中で浸透した結果によるものと考えられる。</p> <p>今後も、さらなる保健活動の充実、感染症予防対策の推進、心の健康づくりの啓発に努め、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成24年程度までの上昇を見込み3.24とする。</p>	<p>・市民の生活習慣の改善に向けた「新しい保健」の取組をさらに推進します。</p> <p>・商工会議所、各商工会、学校などで健(検)診の受診勧奨や健康講話を開催し、予防意識を高めることで、健康診断の受診率向上を図ります。</p> <p>・感染症に関する情報の収集や発生時の体制整備など、感染症流行の予防とまん延の防止に努めます。</p> <p>・心のほっとライン・佐久*や窓口相談などの相談機能を充実させるとともに、自殺予防に関わるゲートキーパーの養成を推進します。</p> <p>・精神障がい者が地域で安心して生活できるよう、生活相談などの支援に努めます。</p>	

審議会意見	・メタボリックシンドロームについては、あなたはメタボですと伝えるだけではあまり意味がなく、その後の行動修正、生活介入が重要であることから、保健指導の充実に図って欲しい。
-------	--

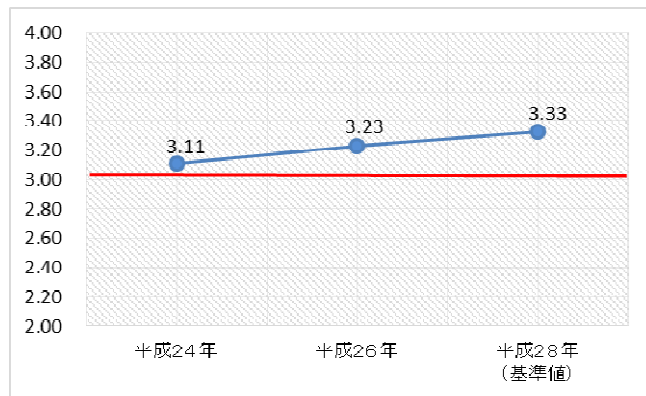
第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
49	423	医療	浅間総合病院第二次整備事業進捗率	%	0 [H22]	100	100	達成	計画のとおり、平成29年1月に建設工事がしゅん工し、3月19日供用開始した。	良質な医療を安定的に提供し続けるため、地域や時代の要請に対応した医療機器や施設の計画的・効率的な更新を進めます。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：医療

- 地域医療体制の充実
- 浅間総合病院の充実



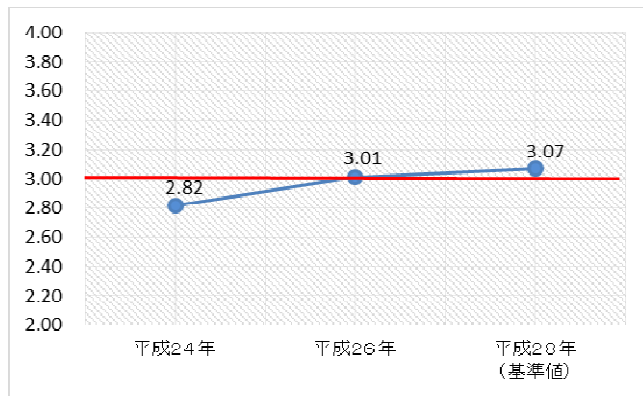
アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.34
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、上昇傾向にあり高い値となっている。 引き続き地域医療体制の充実と浅間総合病院の充実を推進し、満足度の維持、向上を目指す。 目標値は、高い満足度を維持することを目指し、微増の3.34とする。</p> <p>・国の医療施策の動向や市民ニーズを踏まえ、関係機関と連携し医療体制の充実を図るとともに、患者の診療情報の共有化などの相互連携について検討します。 ・地域全体で医療を守っていくため、病状などの状況に応じた「医療機関のかかり方」や身近なところできめ細かな医療を提供する「かかりつけ医」を持つことについて啓発を図ります。 ・休日小児科急病診療センター、平日夜間急病診療センター、休日救急歯科診療所など、地域の救急医療体制について、佐久医師会、佐久歯科医師会などの協力を得ながら充実を図ります。 ・県の地域医療構想を踏まえた「佐久市立国保浅間総合病院改革プラン」に基づき、市民が必要とする医療の提供を行うため、医師を始めとする人材確保や経営基盤の強化に努めます。</p>		

審議会意見	・科によっても違うが医師不足は問題であり、浅間病院は公立病院であることから、特に医師の確保に努めて欲しい。
-------	---

第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
50	424	医療保険・国民年金	国民健康保険税収納率(現年課税分)	%	90.26 [H22]	100	93.63	未達成	督促・催告状の発送、専任徴収員の雇用による臨戸訪問の強化、全職員での滞納整理、未申告者への申告勧奨等を行い収納率は向上しているが、納税者の生活等の状況もあり、目標を達成することができなかった。	国民健康保険税の収納率向上のため、滞納者との早期折衝を図るとともに、滞納処分を強化し、滞納額の縮減を図ります。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：医療保険・国民年金

- 国民健康保険の健全運営
- 後期高齢者医療制度への対応
- 国民年金制度の適正な推進

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.10
<p>満足度指数は、上昇傾向にある。これは、国民健康保険財政の健全化に向けた取組や保険税(料)の収納率の向上、窓口等における資格等管理事務の適正化によるものと考えられる。</p> <p>高齢化が進む中で、将来にわたり安定した医療保険運営を図ることが重要となるが、今後の保険税(料)の改定などにより満足度指数は下降することが予想される。しかし、保険給付費の縮減に向けた取組や保険税(料)収納対策の強化、各制度の分かりやすい広報などにより、満足度の現状維持を目指す。</p> <p>上記により、目標値は基準値+0.03とし、若干ではあるが上昇するように取り組むこととする。</p>	<p>第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安定的で持続可能な医療保険制度の運営のため、5か年ごとに財政健全化計画を策定し、計画に基づく取組を進めます。 ・糖尿病などの重症化を予防し、保険給付費を縮減するため、健康診断の結果などから抽出した対象者に対する保健指導の強化を図ります。 ・疾病の早期発見・早期治療を促進するため、特定健康診査の受診率の向上を図り、保険給付費の縮減に努めます。 ・イベントでの啓発などにより、ジェネリック医薬品の使用を促進します。 	

審議会意見	・今後も引き続き施策の充実に取り組んでもらいたい。
-------	---------------------------

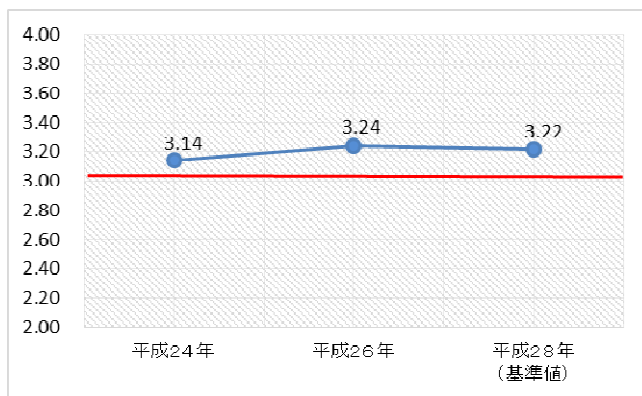
第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
51	431	母子保健	こんにちは赤ちゃん事業における新生児訪問率	%	96 [H22]	100	98.0	未達成	「こんにちは赤ちゃん事業」は、出生の届出時等で周知することにより高い訪問率が維持できている。しかし、子どもの長期入院や、出産後の転出予定等、個々の事情により訪問ができない場合もあるため、目標は達成できなかった。	乳幼児の健やかな成長のため、健康診査と診査後のフォロー教室・相談体制の充実を図ります。

施策名：母子保健

- 母子保健事業（乳幼児健診、乳幼児の予防接種など）の推進
- 思春期保健事業（いのちの尊さを学び母性父性を育む 機会の充実）の推進

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.24
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、横ばい傾向であるが、平均より高い値となっている。今後も、結婚、妊娠、出産、育児における切れ目のない施策の充実により、満足度の維持を目指す。目標値は、若干の上昇を見込み基準値+0.02とし、3.24とする。</p>	<p>・結婚や子育てに対する意識の高揚を図るため、未婚の若者を対象とした恋愛・結婚・子育てに関するイベントなどを引き続き実施します。</p> <p>・不妊・不育治療の助成を通じ、安心して不妊治療を受けられる環境づくりを推進するとともに、妊娠・出産の適齢期について考える機会の充実を図ります。</p> <p>・妊産婦に対する経済的負担の軽減を図るため、福祉医療費給付金の支給を引き続き実施します。</p> <p>・妊娠期からの切れ目のない支援を継続するため、パパママ教室やこんにちは赤ちゃん事業などの各種事業の充実を図り、出産・育児支援を推進します。</p> <p>・予防接種の必要性や効果などの啓発を図り、適切な接種を推進します。</p>	

審議会意見	・こんにちは赤ちゃん事業では、出産後の不安解消のためにも、できるだけ早い時期に訪問できるよう努めて欲しい。
-------	---

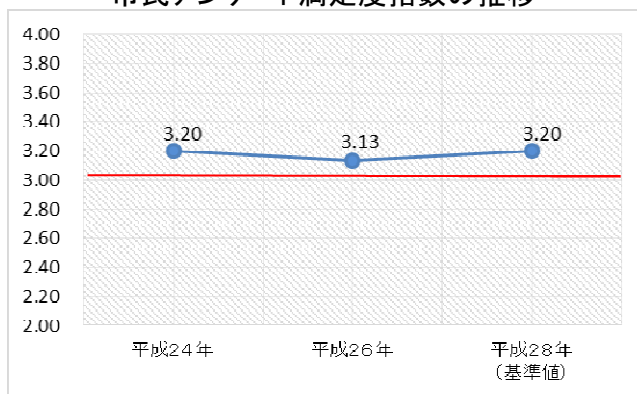
第4章 みんなが生涯現役で住みよい健康長寿のまちの形成(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
52	432	子育て支援・児童福祉	子育てサロンの延べ利用者数	人/年	7,908 [H22]	8,300	7,553	未達成	乳幼児の定期検診時などに事業の周知に取り組んだが、目標値を達成することができなかった。要因としては、少子化による対象年齢児の減少や女性の社会進出等により3歳未満児の保育園入園が増えているため、子育てサロンを実際に利用できる対象児童数の減によるものと考えられる。	多様化するニーズに対応するため、子育てサロンやつどいの広場などの子育て支援事業を推進するとともに、多くの方が参加できるよう、広報活動の強化を図ります。
53			つどいの広場の延べ利用者数	人/年	15,099 [H22]	15,800	24,791	達成	開催会場を3会場から5会場に増やしたことによる開催回数の増加や、講座内容の充実を図ったことから、目標を達成することができた。	
54			児童館の延べ利用者数	人/年	303,975 [H22]	319,000	299,784	未達成	利用者数増加のため、児童館の企画や運営に子ども達が参加し子ども達が楽しめる児童館運営を行ってきたが、少子化による児童の減少や、利用児童の固定化により、目標値を達成することができなかった。	

施策名：子育て支援・児童福祉

- 子育て支援ネットワークの拡充
- 保育サービスの充実
- 児童館の整備と運営

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.25
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、平成26年に下降が見られたが概ね横ばい傾向にある。今後も多様化するニーズに対応し、子育て支援事業、保育サービス、児童館運営などの充実を図ることにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、年間+0.01を見込み3.25とする。</p> <p>子どもが不安や悩みを解決できるよう、「チャイルドライン」を支援するとともに、保護者の育児不安を解消するため、相談・指導内容の充実を図ります。</p> <p>児童虐待の早期発見と早期対応、予防のため、関係機関と連携し、啓発の強化を図ります。</p> <p>子育て世帯の負担軽減を図る各種施策について検討します。</p> <p>施設の統合や民間活力の導入を検討するとともに、施設の改築や設備の充実など、保育環境の整備を推進します。</p> <p>乳児保育、延長保育、休日保育、病児・病後児保育など、ニーズに応じた保育内容の充実を図るとともに、保育士の確保に努めます。</p> <p>地域の自然を生かした屋外活動を中心に、地域の文化などを取り入れた保育を推進します。</p>		

審議会意見	・利用者の満足度を高めることが重要であることから、つどいの広場、子育てサロンなどは利用者アンケートの結果を踏まえ取り組んでほしい。
-------	---

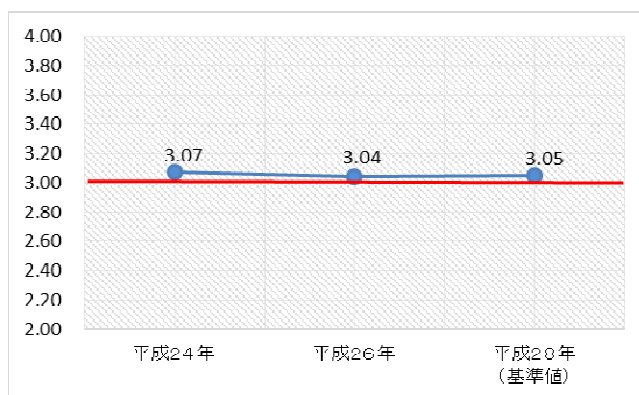
第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				最終評価	結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績				
55	511	環境保全	市内家庭の総消費電力	MWh/年	239,143 [H22]	191,315	公表なし 直近H27 219,159	未達成 見込み	平成28年度は電力自由化に伴い、中部電力が市町村別の「販売電力量」を非公表としたことから、最新値は平成27年度数値となる。これまで省エネやクールシェア・ウォームシェア等の啓発により、市民生活においても省エネ行動は意識され、総消費電力量は年々減少しているが、日常において一定のエネルギー量は必要であり、計画最終年度の目標の達成は難しいと見込まれる。	エネルギーの地産地消を推進するため、太陽光や木質バイオマスの適切な利用を促進するとともに、水力や地中熱などの普及についても検討し、再生可能エネルギーのさらなる利用促進を図ります。	

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：環境保全

- 総合的環境施策の推進
- 環境保全対策（地下水の保全や公害防止など）の推進
- 地球環境保全（省エネルギーや環境負荷低減）の啓発や実践



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.06
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、横ばい傾向にある。今後も環境保全に係る各種施策を展開し、良好な自然環境や生物多様性が確保された住みよい生活空間を創り出すことにより、満足度の上昇を目指す。しかし、過去の満足度の変動が小さいことから、目標値は微増の3.06とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域共有の貴重な財産である地下水を保全し、健全な水循環を確保するため、地下水賦存量を明らかにし、地域の水は地域で守る活動を推進します。 ・効果的な環境施策の展開を図るため、緑の環境調査を継続的に実施し、分析を進めます。 ・特定外来生物を始め、生態系への脅威となっている様々な要因の軽減に向けた取組を推進します。 ・佐久市地球温暖化対策実行計画を策定し、温室効果ガスの排出削減に向けた省エネルギー行動を促進します。 ・わが家のエコ課長フォローアップ事業を拡充するとともに、学校教育における環境学習メニューの充実を図ります。 ・老朽化した平根発電所の計画的な改修や更新を進めるとともに、農業用水路などを活用した水力発電設備の導入を促進します。 		

審議会意見	・太陽光などの自然エネルギーの活用については、周辺環境への影響も考慮して取り組んで欲しい。
-------	---

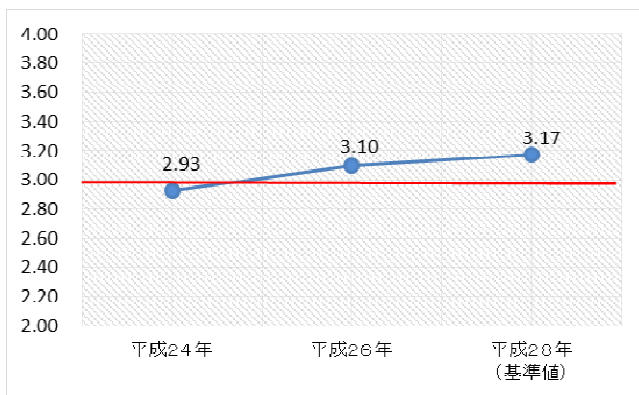
第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
56			平尾山公園の入場者数	人/年	411,947 [H22]	420,000	262,272	未達成	平成28年度はセンターハウス改修工事による施設の閉鎖、酷暑や暖冬の影響により利用者が大幅に減少した。また、スキー人口の減少などにより計画期間を通して減少傾向であり、目標を達成できなかった。	安全で快適な公園の利用環境を確保するため、公園施設長寿命化計画に基づき、公園施設の計画的な補修・更新を進めるとともに、適切な維持管理に努めます。
57	512	街並み緑化・公園・景観形成	都市公園の整備面積	m ² /人	7.94 [H22]	9.82	8.76	未達成	公園整備事業を推進しているが、平成28年度に新たな公園整備の完了がなかったため、面積の増加はなく、目標は達成できなかった。要因としては、佐久総合運動公園整備事業への国の補助金の減額による、計画の遅れなどが挙げられる。なお、総合運動公園については、本年度、整備計画を見直しする中で、平成32年度の野球場の供用開始を予定している。	・総合運動公園の早期完成を目指し、計画的に整備を進めます。 ・市内の公園の設置状況や利用状況などを踏まえ、計画的に公園の整備を進めます。

施策名：街並み緑化・公園・景観形成

- 公園の整備推進
- 公園の適正な維持管理と利用
- 水辺空間の整備
- 緑化の促進
- 良好な景観形成の推進

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.20
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、大幅に上昇傾向にある。これは、市民交流広場や佐久総合運動公園の整備によるものと考えられる。今後も佐久総合運動公園内の野球場、クロスカントリーコースの整備などの公園施設の充実により、目標値の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、既に高い値となってきたことから5年間で+0.03を見込み3.20とする。</p>	<p>・緑の基本計画の見直しを行い、緑地の保全と街並みの緑化を推進します。</p> <p>・緑化活動への新たな団体の参加を促進するため、積極的なPRに努めます。</p> <p>・潤い豊かな水辺空間を創出するため、地域やボランティア団体との協働により、草刈やゴミ拾い、花の植栽など、河川の環境美化活動を推進します。</p> <p>・公園の維持管理方法などの見直しを行い、幅広い団体のアダプトシステムへの参加を促進します。</p> <p>・長野県屋外広告物条例、佐久市景観条例・景観計画などに基づく規制、誘導により、「原風景」の保全を図るとともに、「原風景」と調和した「新風景」の育成を推進します。</p>	

審議会意見	<p>・冬になるとウォーキングなどの運動をやめてしまう人が多い、健康都市を掲げるならば室内で冬でも運動ができるような場所を検討して欲しい。</p> <p>・ゲートボール場などは、ニーズの変化に合った利用方法も検討して欲しい。</p>
-------	--

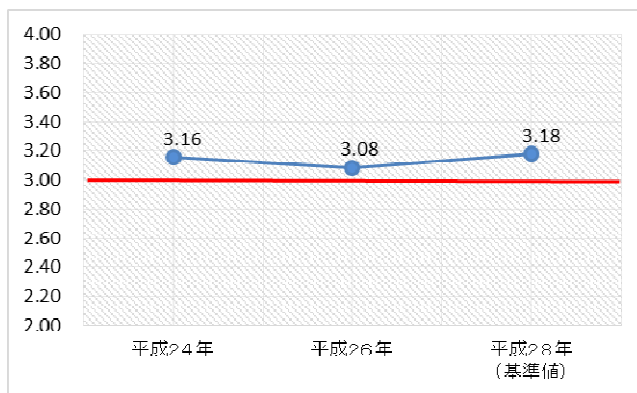
第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
58	521	環境衛生	家庭系ごみの排出量	t/年	21,384 [H21]	19,591	18,980	達成	生ごみの堆肥化、雑がみの資源化、また分別の徹底などの周知により、目標を達成することができた。 可燃ごみに含まれる雑がみの資源化を指導、啓発を行ってきたが、事業系ごみについては、目標を達成することが出来なかった。	・ごみの減量化や分別の徹底、リサイクルについての啓発を強化します。 ・家庭から発生する生ごみの堆肥化を促進するため、生ごみ処理機などの購入費用に対する補助制度の普及を図るとともに、佐久市堆肥製産センターにおける臼田地区の生ごみの堆肥化を推進します。
59			事業系ごみの排出量	t/年	5,296 [H21]	4,670	5,632	未達成		

施策名：環境衛生

- 廃棄物（ごみ）処理対策の推進
- し尿・汚泥対策の促進

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.20
満足度指数は、平成26年に下降したが、平成28年には0.1の上昇となっている。これは、平成27年度に生ごみ処理機等購入費補助金の購入要件を緩和し生ごみの堆肥化を推進したことや、埋め立てごみの分別基準の見直しなどによるものと考えられる。 今後もこれらのごみ処理対策を継続的に行うことにより、満足度の上昇を目指す。 目標値は、5年間で+0.02を見込み3.20とする。	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)	
	・処分場の延命化を図るため、処理施設の適正な維持管理に努めます。 ・平成31年度の稼働を目指し、佐久市・北佐久郡環境施設組合や関係者との連携を深め、新クリーンセンターの整備を促進します。 ・ポイ捨てや不法投棄を防止するため、関係機関と連携し、監視活動、啓発活動の強化を図ります。 ・し尿処理施設の適正な維持管理と効率的な運営を促進します。	

審議会意見	・排出されるごみの種類など、何を減らすのが効果的なのか傾向を良く分析し、今後も減量に取り組んで欲しい。
-------	---

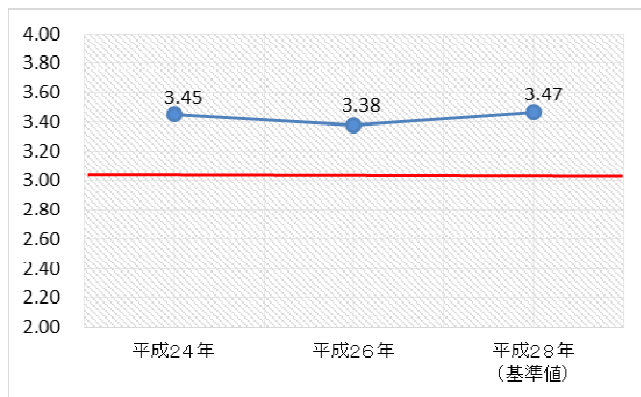
第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
60			上水道有収率 (年間総配水量に対して収入となった水量の割合を示すもの)	%	84.0 [H22]	90.0	84.5	未達成	老朽化した施設の有収率向上対策を促進しており、水道事業者が順次対応しているが、対象施設・設備が多数存在するため、目標を達成することができなかった。	水道事業者と連携し、水道施設の維持管理体制の強化を促進するとともに、中長期的な視点による施設の更新と将来の水需要を見据えた効果的な施設整備を促進します。
61	522	上水道	水源余裕率 (1日最大配水量に対して確保している水源水量がどの程度余裕があるかを示すもの)	%	16.2 [H22]	22.0	25.2	達成	節水意識の向上や人口減少等による年間使用量の減少に伴い、1日最大配水量が減少し、確保している水源水量に余裕ができたため、目標を達成することができた。	<ul style="list-style-type: none"> 土地利用の現況把握や地下水調査など、水源地の保全活動を継続して実施します。 水源地域保全のため、水源地を保有する市町や周辺市町村と連携し、広域的な上水道施策を促進します。 水資源の有限性、水の貴重さ、節水の必要性について、水道事業者と連携し、啓発を推進します。

施策名：上水道

- 水資源の保全
- 上水道の整備・管理

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.49
<p>満足度指数は、非常に高い値で横ばい傾向である。これは、生活に欠かすことのできない水道水のほとんどが地下水と湧水を水源としており、水源保全地域の指定等を行うなど、関係団体等により良質な水の安定供給が図られていることによると考えられる。</p> <p>今後も水資源の保全に向けた取組、水資源の有限性や水の貴重さをより啓発していくことで、市民満足度の維持、上昇を目指す。</p> <p>目標値は、既に高い値となっているため微増を見込み3.49とする。</p>	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)	<ul style="list-style-type: none"> 水道事業者と連携し、管路などの耐震化を促進するとともに、非常時におけるバックアップ体制が可能な配水システムの構築を促進します。 市が給水を行う小規模水道では、老朽化した施設の更新や施設の耐震化を推進し、施設の適正な維持管理と安定給水の確保を図ります。

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に上水道の施設維持管理を行って欲しい。 ・佐久地域の財産である水源地の保全に努めて欲しい。
-------	--

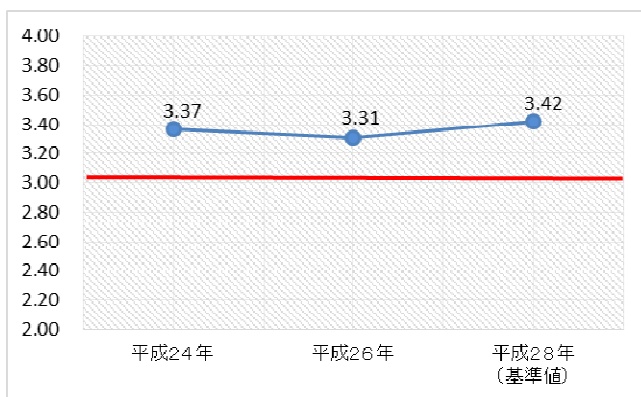
第5章 水と緑きらめく自然と共に生きる快適環境の創出(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
62	523	下水道	下水道整備面積	ha	2,931 [H22]	3,032	2,961	未達成	平成28年度は西屋敷地区、荒宿地区などの整備を行い面積は増加しているが、現在集落排水と公共下水道の統廃合事業を優先しており、下水道整備面積は目標を達成できなかった。	公共下水道の未普及箇所について、費用対効果を検証しながら、効率的な整備を進めます。
63			水洗化率	%	86.9 [H22]	90.9	92.8	達成	未接続区域への下水道整備が進み、宅内工事をする世帯が増加したため、目標を達成することができた。	水洗化促進策として、引き続き未水洗化世帯への戸別訪問を推進します。
64			下水道使用料収納率(現年分)	%	96.8 [H22]	100	97.1	未達成	現年度分収納率は年々伸びているものの、一部の未納者が固定しているため、決定的な収納率向上に繋がっておらず、目標は達成できなかった。	下水道使用料の収納率向上を図るため、民間の技術や経験の活用を図るとともに、上水道関係機関との連携強化を図ります。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：下水道

- 公共下水道の整備と管理
- 下水道の健全経営
- 合併処理浄化槽の普及と管理
- 生活排水処理施設の統廃合



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.47
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、非常に高い値で横ばい傾向である。</p> <p>今後も水洗化の推進を図るとともに、下水道の健全経営の推進を図ることにより、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成24年から28年の4年間で+0.05していることから、年+0.01を見込み3.47とする。</p>	<p>・人口減少が進行していることから、平成19年度に策定した生活排水処理基本計画の見直しを行い、人口規模に見合った総合的かつ効率的な生活排水処理施策を推進します。</p> <p>・水環境の保全を図るため、施設や設備の適正な維持管理に努めるとともに、長期的な視点による計画的な更新や機能強化を進めます。</p> <p>・経営の安定化と効率化を図るため、生活排水処理施設の新たな統廃合計画を策定し、計画的な統廃合を進めます</p>	

審議会意見

・まだ水洗化率が低い地域もあるので、今後も水洗化を促進して欲しい。

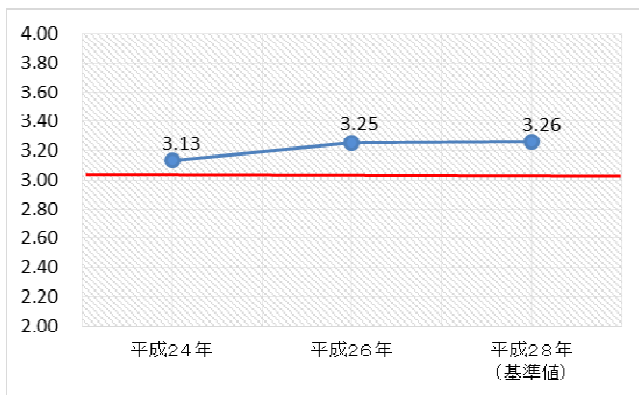
第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
65	611	防災	自主防災組織設置区数	区	230 [H22]	239	235	未達成	地域の防災意識の高まりにより、多くの自治会で組織形成されたが、様々な地域事情(高齢化や区民の転出入が多く組織形成が難しいこと、また区に定住者が少ないことなど)により組織形成をしない区もあり、目標を達成することはできなかった。	自主防災組織の育成による地域ぐるみの防災体制の確立を促進します。
66			地域自主防災訓練実施区数	区	143 [H22]	239	158	未達成	訓練実施区数は増加したが、実施区が固定化されるなど、大幅な増加とならず、目標を達成することはできなかった。	実践的な総合防災訓練や、ひとり暮らし高齢者の対応など地域の実情に応じた自主防災組織による防災訓練の実施を推進します。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：防災

- 防災体制の強化
- 防災対策の推進
- 市民の防災意識の高揚
- 武力攻撃事態等における国民保護体制の整備



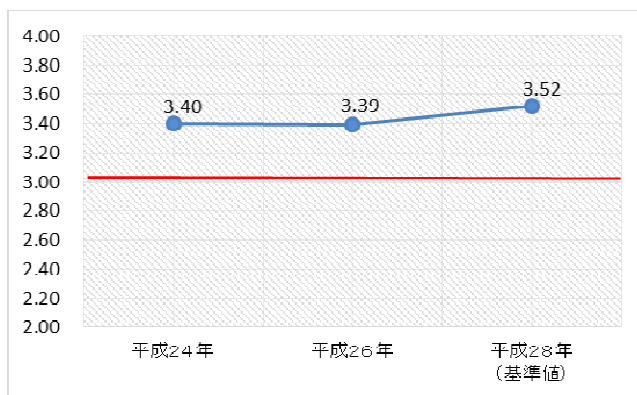
アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.36
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、上昇傾向にある。今後も出前講座や自主防災組織の訓練への参加等を行い、防災体制の強化や、市民の防災意識の高揚を促進することにより、満足度の上昇を目指す。目標値は年+0.02を見込み3.36とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる災害に対応できるようにするため、地域防災計画の点検と見直しを行い、防災体制・防災対策の強化を推進します。 ・災害時の協力体制の強化のため、国・県・他市町村・民間との連携や友好都市などとの相互応援体制の構築を推進します。 ・正確な情報伝達に活用するため、防災行政無線など各種防災情報システムの充実を図ります。 ・浅間山火山防災協議会における関係機関との連携、浅間山火山防災マップの活用などにより、浅間山火山災害における防災体制の強化を図ります。 ・災害時に対応するための資機材の整備、食料品などの備蓄を推進します。 ・国民保護措置を的確かつ迅速に実施するため、全国瞬時警報システム(Jアラート)による情報提供と事後の救援体制の充実を図ります。 		

審議会意見	・災害時における個人情報の取り扱いなど、必要な時に必要な情報を提供、利用できる仕組み作りをしていって欲しい。
-------	--

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
67	612	消防・救急	消防団協力事業所数	事業所	57 [H22]	100	116	達成	消防団協力事業所に対する県税及び市の入札優遇制度の効果や、災害時における消防団活動の重要性が多く事業所に理解されたことにより、目標を達成することができた。	消防団員がより活動できる環境を整備するため、消防団協力事業所制度を推進するとともに、消防団応援事業所制度により消防団員を支援します。
68			火災発生件数	件/年	61 [H22]	25	58	未達成	火災予防のビラ配布や、火災予防週間における気象乾燥時の野焼注意の広報等を行い防火意識の高揚を図ったが、火災発生件数の減少に至らず、目標を達成することができなかった。	火災予防のため、啓発活動を推進するとともに、住宅用火災警報器の設置を促進します。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：消防・救急

- 広域消防・救急体制の強化
- 地域消防体制の充実
- 市民・民間の防火体制充実

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.53
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、非常に高い値で平成28年にはさらに上昇している。これは、佐久消防署、北部消防署の建設及び高機能司令センターの稼働により、広域消防体制の強化が図られたことによると考えられる。</p> <p>今後も計画的に消防団の装備などを充実させるとともに、火災予防のための防火訓練や広報活動により、市民の防火意識の高揚を図ることで、高い満足度の維持を目指す。</p> <p>目標値は、微増を見込み3.53とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 火災予防や被害軽減のため、消防車両や消防資機材の充実を図ります。 ・ 救命率向上のため、救急隊員や救急救命士の育成、医療機関との連携を促進します。 ・ 救命率向上のため、AEDの効果的な配備、設置場所の周知や使用方法を含めた救急法の講習会を実施します。 ・ 地域の実情に応じた消防団の組織体制の構築を図ります。 ・ 組織の充実や消防団活動の強化のため、機能別団員制度の活用により、女性消防団員を含めた幅広い層からの消防団員の加入を促進します。 ・ 防火訓練や広報活動の実施により、市民や事業所の防火意識の高揚を図ります。 	

審議会意見	・ AEDが実際にどこに設置されているのかわからない。AEDの設置場所については、周知に取り組むとともに、分かりやすい表示などに努めて欲しい。
-------	---

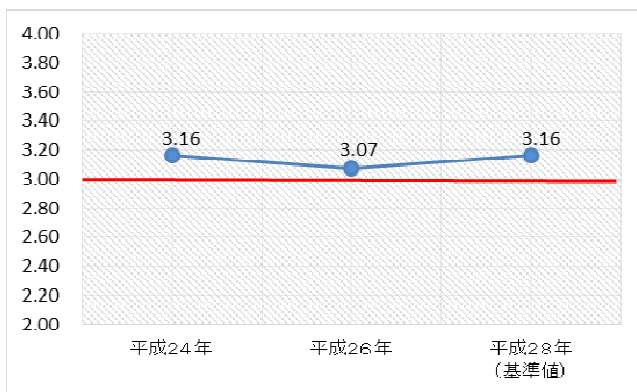
第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
69	613	交通安全	交通安全大会、各種講習会などの延べ参加者数	人/年	10,442 [H22]	16,000	10,096	未達成	市内幼稚園、保育園、小中学校及び各地区老人クラブに安全教室開催の要請を行っているが、開催団体は例年同じ団体が多く、参加者数はほぼ横ばいのため、目標を達成することができなかった。	高齢者対象のナイトスクールや老人クラブと連携した交通安全教室の開催、高齢者宅への家庭訪問などにより、交通安全意識の啓発に努めます。

施策名：交通安全

- 交通安全環境の整備
- 交通安全意識の高揚
- 交通事故に関する相談・救済対策の充実

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)
<p>満足度指数は、平成26年に下降が見られたがほぼ横ばい傾向にある。今後は、高齢化社会が進行する中で、引き続き高齢者交通安全教室等を重点とした交通安全対策を推進し、より安全な交通環境を確立することにより、満足度の上昇を目指す。目標値は、平成26年からの上昇傾向の継続を見込み3.20とする。</p>	<p>3.20</p> <p>第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通指導員の交通安全指導力の向上を図るとともに、幼稚園、保育所、小学校、中学校における交通安全教室の継続的な開催を推進します。 ・通学路を始めとする歩道の整備など、道路の改築事業の推進に努め、子どもや高齢者にやさしい安全で快適な歩行者空間の確保を図ります。 ・交通事故の多発箇所を点検するとともに、交通安全施設への区要望などを踏まえ、事故防止に効果的な交通安全施設の設置を推進します。 ・長野県交通事故相談所などの関係機関との連携を図り、相談者が気軽に相談できる体制づくりに努めます。

審議会意見	・今後も引き続き施策の充実に取り組んでもらいたい。
-------	---------------------------

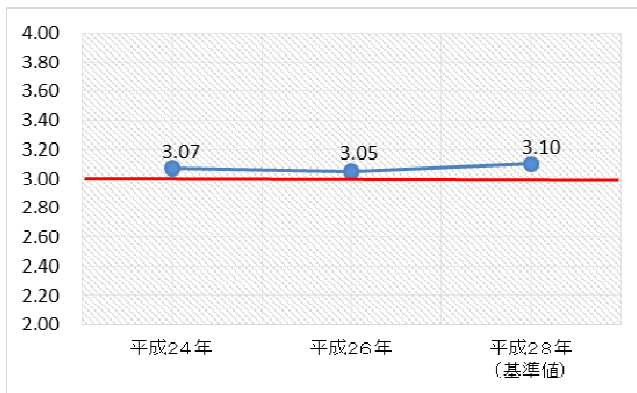
第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				最終評価	結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績				
70	614	防犯	犯罪発生件数	件/年	1,079 [H22] (852)	835 (660)	617 (481)	達成	区からの要望に基づく防犯灯の新設や、既設の蛍光灯による防犯灯を、順次、照度の高いLED灯に交換し、夜間でも明るい屋外環境を確保してきたことにより、犯罪発生件数は減少し、目標を達成することができた。しかし、振り込め詐欺等の特殊詐欺事件は、数多く発生し、後を絶たない状況である。 (現状値、目標値は佐久警察署管内値であり、実績値は佐久市内値である。H22の佐久市内現状値は852件であることから、目標値を案分すると660件となる。)	犯罪を未然に防止するため、佐久警察署、佐久ケーブルテレビ、エフエム佐久平などと連携した広報活動などにより、防犯意識の高揚を図ります。	

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：防犯

- 防犯体制・防犯活動の強化
- 防犯施設の整備



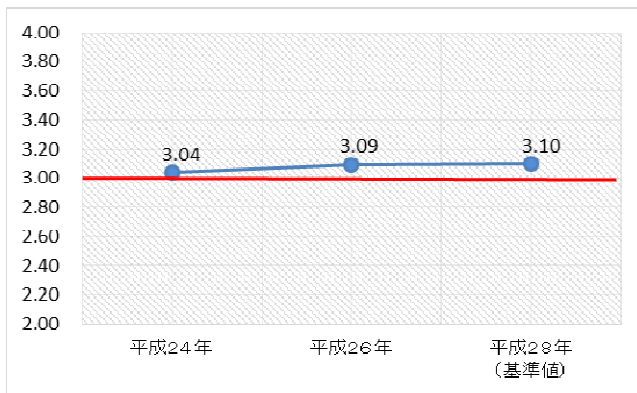
アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.13
<p>満足度指数は、平均値より高くほぼ横ばい傾向にある。これは、刑法犯認知件数が減少傾向にあり、今までの取組に一定の効果があつたことによると考えられる。</p> <p>しかし、近年は特殊詐欺に対する取組が特に重要になっており、現在、特殊詐欺撲滅強化運動期間を設け様々な取組を展開している。そのような取組も含め今後も関係機関と連携し施策の展開を図ることで満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成24年から平成28年まで0.03上昇していることから、5年間で+0.03を見込み3.13とする。</p>	<p>第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもを犯罪から守るため、学校教育を通じた防犯意識の普及・啓発を図ります。 ・特殊詐欺による被害を未然に防止するため、警察と連携し、高齢者を対象とした被害防止講習会を開催するとともに、広報活動を実施します。 ・地域住民や関係機関、防犯組織との連携、子どもを守る安心の家の設置、防犯パトロールなどにより、家族ぐるみ・地域ぐるみの防犯活動を促進します ・夜間における犯罪の防止のため、区要望による防犯灯の整備を推進します。 	

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺の不審者などに対する対応を、学校、地域とともに考えていって欲しい。 ・防犯カメラなどの活用も検討していって欲しい。
-------	---

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
71	615	消費生活	消費生活展、街頭啓発、講習会などの実施回数	回/年	35 [H22]	60	33	未達成	老人クラブ対象の被害防止教室の開催の要請をしたが、全クラブ中開催は約半数に留まっている。開催クラブが固定化され、新たに開催するクラブが増えていないことなどから、目標を達成できなかった。	消費者が、消費生活の改善について、自ら考え、主体的に行動することにより、賢い消費生活を送れるように、広報・啓発活動を推進します。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：消費生活

- 消費者保護対策（悪質商法契約など各種トラブルへの対策等）の推進
- 消費者意識の高揚
- 消費生活の改善

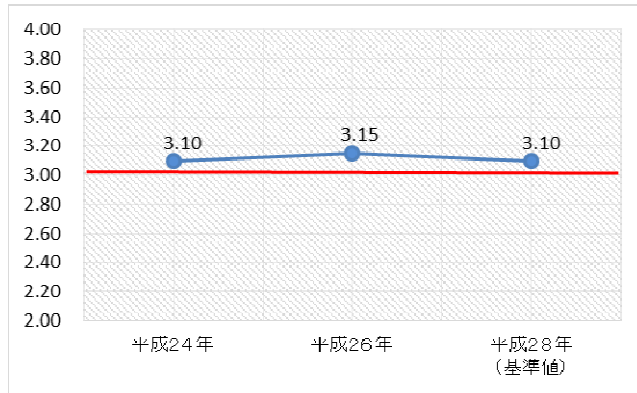
アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)
<p>満足度指数は、上昇傾向にある。今後も専門の相談員を配置した消費生活センターにおける的確な相談業務の推進を図るとともに、継続的な消費者被害防止等の広報啓発による意識の向上を図り、満足度の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成24年から28年までに0.06上昇していることから、年+0.01を見込み3.15とする。</p>	<p>3.15</p>
<p>第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費生活展、佐久ケーブルテレビ、エフエム佐久平、市広報紙などを活用した情報提供の充実を図ります。 ・消費者被害防止のための高齢者講習などにより、消費生活のトラブルに関する知識の普及、消費生活に関する意識の高揚を図ります。 ・架空請求詐欺や悪質商法契約などの消費者生活のトラブルについて、佐久市消費生活センターにおける的確な相談業務を推進します。 ・食品や消費生活用製品などに関して、関係機関と連携し、迅速かつ継続的な消費者情報の提供に努めます。 	

審議会意見	・特殊詐欺対策に対応した電話機の普及など、今後も特殊詐欺対策を推進して欲しい。
-------	---

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
72	621	協働のまちづくり	佐久市市民活動サポートセンター登録団体数	団体	- [H22]	300	180	未達成	市民活動サポートセンターに関する情報の周知により、登録団体数は増加したが、近年は年間に登録される新たな団体は20団体程度となり、登録団体数は頭打ちになってきたため、目標値を達成することはできなかった。	佐久市市民活動サポートセンターを拠点とした市民活動ネットワークの拡大を図るとともに、若者世代の参加と活動の充実を促進します。
73			佐久市まちづくり活動支援金事業を活用する団体数	団体/年	- [H22]	10	22	達成	平成26年度に交付対象経費が20万円以上の高額補助枠と、20万円以下の少額補助枠を設け、市民が利用しやすいように見直しを行ったところ、活動団体が増加し目標を達成できた。	佐久市まちづくり活動支援金の活用を促進するとともに、市民活動団体が行うまちづくり活動を積極的に支援します。
74			各審議会など全体公募委員割合	%	3.2 [H22]	10.0	10.3	達成	市民参加型市政の推進により、市民の関心が高まっていることから、公募委員の割合は上昇しており、目標を達成することができた。	各種審議会の市民公募委員枠の拡大を図るとともに、審議会の日程や会議録などの情報提供を推進します

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：協働のまちづくり

- 市民の市政参画機会の拡充
- 広報・広聴の充実
- 協働のまちづくりの推進
- 情報提供と個人情報保護

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.15
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>市民満足度は、平均値より高いがほぼ横ばい傾向にある。</p> <p>今後もより一層協働に関する情報発信に努め、市民とともに地域課題解決に取り組む協働・参加のまちづくりを進めることにより、目標値の上昇を目指す。</p> <p>目標値は、平成26年水準までの回復を目指し3.15とする。</p>	<p>・市広報紙、市ホームページ、SNSなどを通じて、市民、市民活動団体、行政が情報を共有することで、市民と市がパートナーとして、連携・協力する市民協働のまちづくり、市民参加のまちづくりを推進します。</p> <p>・市民自らが参加し、意見を述べる機会を増やすことで、市民の市政参加を促進します。</p> <p>・市民への分かりやすく、きめ細かな情報提供を行うため、市広報紙や市ホームページの充実を図ります。</p> <p>・時代に即した幅広い情報発信を行うため、佐久ケーブルテレビ、エフエム佐久平と連携するとともに、ツイッター、フェイスブック、サイマルラジオなどを活用した広報活動を推進します。</p> <p>・佐久市情報公開条例に基づき、情報公開制度の適正な運用を図るとともに、社会ニーズに応じた制度の改善に努めます。</p>	

審議会意見	・今後も引き続き施策の充実に取り組んでもらいたい。
-------	---------------------------

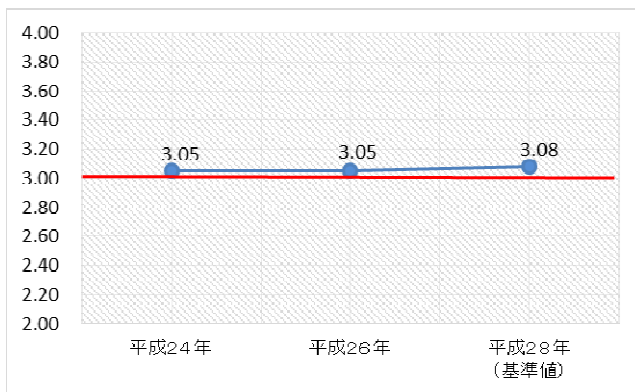
第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
75	622	コミュニティの育成	区への加入率	%	87.57 [H22]	90.00	84.00	未達成	区への加入率を増加させるため、転入者への加入案内の配布や区長に加入促進のための方法を記載した資料を配布するなどしたが、目標値を達成することができなかった。要因としては、都市化の進展や若年層のコミュニティ活動離れによる、共助の精神の希薄化等が考えられる。	地域コミュニティの基本である区の活動や適正規模、区の実情に合った区の体制づくりを支援します。

施策名：コミュニティの育成

- 地域自治組織の育成
- コミュニティ活動環境(情報交換の促進や施設整備)の充実
- 住民主体のまちづくりへの支援

市民アンケート満足度指数の推移



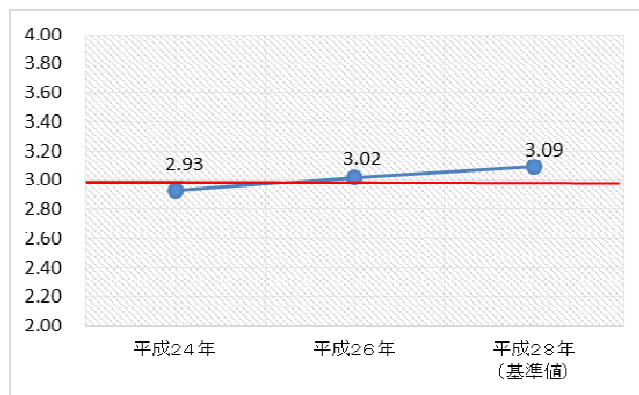
アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.10
満足度指数は、緩やかではあるが上昇傾向にある。 今後は、人口減少や少子高齢化等により、地域のコミュニティ活動の低下が懸念される。また、都市化の進展とともに年々区の加入率も減少傾向にあり、共助の精神が希薄化する傾向にあることから、大幅な満足度の上昇は困難である。 目標値は、施策の展開により維持を目指し、微増の3.10とする。	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)	
	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎組織である区や、地域活動を行うボランティア団体・NPOなどの様々な団体と連携し、地域課題を解決するための取組を支援します。 ・コミュニティ活動の基盤となる公会場などの施設整備を支援します。 ・地域の伝統文化の継承、保存など住民が自主的に行うコミュニティ活動を促進し、地域の連帯感に基づく自治意識の高揚を図ります。 ・地域コミュニティの活性化を図るため、都市地域などから移り住み地域協力活動に従事する地域おこし協力隊の活動の充実を図ります。 	

審議会意見	・区に加入した人からは、役員などの仕事を通して行事などに参加できてよかったとの声もあることから、今後も区への加入案内等積極的に行って欲しい。
-------	--

第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
76	623	公共施設	新規指定管理者制度導入施設数	施設/年	1 [H22]	1	1	達成	平成28年度は社会体育施設(44施設を一括で指定)について、指定管理者制度の導入を実施し、目標を達成できた。計画期間内においても年1施設以上の導入を行った。	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設の管理運営方法については、民間活力の導入を引き続き推進します。 指定管理者制度について、広く民間のノウハウを活用するため、多くの事業者が参加できる方法や、インセンティブが働く仕組みづくりを検討します。

市民アンケート満足度指数の推移



施策名：公共施設

- 公共施設の管理方法
- 公共施設の適正な配置と整備
- 公共施設の耐震化

アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)
	3.10
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)	
<p>満足度指数は、上昇傾向にあるが、公共施設等総合管理計画の策定により、統廃合等が進められることから、今後は満足度は下降傾向が見込まれる。しかし、人口減少や財政状況の維持のための「公共施設の適正化」の理解を促し、市民と行政との意識の共有を進めることで、満足度の現状維持を目指す。</p> <p>上記より、目標値は基準値+0.01とし、若干ではあるが上昇するように取り組むこととする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 佐久市公共施設等総合管理計画に基づき各施設の個別計画を策定し、施設の最適化を推進します。 個別計画では、将来においても持続可能な公共施設規模の最適化に向け、適切な進捗管理を実施します。 地域に必要とされる機能を勘案し、公共施設と民間施設の複合化など、公共施設の有効活用を検討します。 公共施設の整備については、民間資金の活用を可能とするPFIを含むPPPを推進します。 効果的、効率的な管理運営のため、アダプトシステムの活用や、包括的民間委託を始めとした未導入の取組について調査・研究を行います。

審議会意見	・今後も引き続き施策の充実に取り組んでもらいたい。
-------	---------------------------

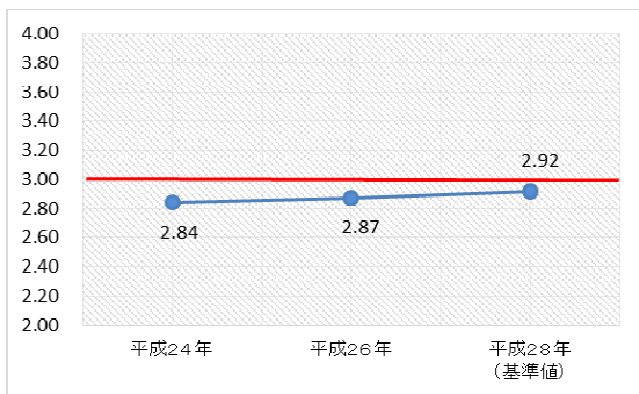
第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
77	624	行財政	市税収納率(現年課税分)	%	97.25 [H22]	100	98.5	未達成	専任徴収員による戸別訪問徴収の実施や換価性の高い債権(給与・預貯金等)の重点的な差押え等に取り組んだことにより、収納率は上昇傾向にあるが、目標を達成することはできなかった。	税負担の公平性と自主財源確保のため、課税客体的確な把握に努めるとともに、納税環境の整備を図り、納税者の納税意識の高揚と収納率のさらなる向上を図ります。

市民アンケート満足度指数の推移

施策名：行財政

- 効率的な行政運営
- 効率的な財政運営
- 適正な人事管理と職員能力発揮
- 入札及び契約の適正化



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.00
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、上昇傾向にあり、平成24年から0.08上昇している。これは、組織機構の見直しや、外部評価の実施などの取組によるものと考えられる。今後も計画的・効率的な行財政運営を行うとともに、市民に丁寧な説明を行うことにより、さらなる満足度の上昇を目指す。</p> <p>過去4年間では、年0.02の上昇であることから、5年間で平均である3.00を目指す。</p>	<p>・市民に必要とされる事業の継続と、まちの持続的発展につながる新たな事業の実施を両立できる行政経営基盤の確立を図ります。</p> <p>・時代の変化や市民ニーズに柔軟に対応するため、より効率的・機能的な組織機構の見直しと適正な職員配置に努めます。</p> <p>・行政評価システムの簡素化、重点化により、効果的・効率的な事業の検証と改善を図ります。</p> <p>・限られた財源の重点的・効率的な配分について、「選択と集中」に基づく中長期的な視点に立った計画的な財政経営に努めます。</p> <p>・経費の節減や事務の合理化により、財政構造の健全性・弾力性の確保に努めます。</p> <p>・事業の実施に当たっては、国・県補助などの特定財源や交付税措置のある有利な起債の活用を図ります。</p> <p>・多様化・複雑化する市民ニーズを的確に捉え、厳しい地域間競争を勝ち抜くための施策を展開できる職員の育成を図ります。</p> <p>・地元企業の育成や地域経済の活性化を図るため、「地元企業優先発注等に係る実施方針」に基づき、地元企業への優先発注や市内産品の優先活用を推進します。</p>	

審議会意見	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト意識とともに、例えば子どもの目線での事故対策といった利用者の立場に立った施設整備に努めて欲しい。 ・新しい施策を企画立案し、展開できる職員の育成に努めて欲しい。
-------	---

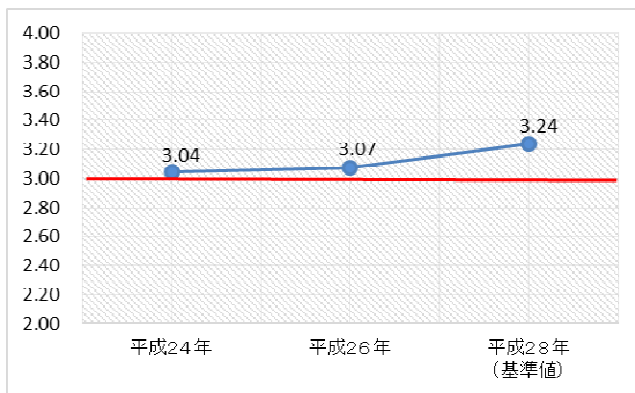
第6章 市民生活の安全確保と市民満足度の向上(続き)

No.	施策コード	施策名	目標(項目)	単位	目標の推移				結果の分析	第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容
					計画策定時の値	平成28年度末の目標値	平成28年度実績	最終評価		
78	625	広域連携	定住自立圏による事業実施数	事業	- [H22]	25	33	達成	佐久地域定住自立圏による連携事業は、圏域住民の生活の利便性向上のため、「佐久地域定住自立圏共生ビジョン」に基づき実施しているが、構成市町村との調整により、多くの事業を同ビジョンに盛り込むことができたため、目標を達成できた。 なお、平成29年度からスタートした第2次共生ビジョンでは、さらに34個の事業に取り組んでいる。	・関係市町村との連携・協力により、圏域全体の生活機能やネットワークの強化を図ります。 ・佐久地域定住自立圏共生ビジョンに定める取組を検証することにより、人口減少などの社会情勢の変化に対し柔軟な対応を図ります。

施策名：広域連携

- 広域行政の推進
- 定住自立圏構想の推進
- 広域行政の組織機能強化

市民アンケート満足度指数の推移



アンケート結果の分析と第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標設定根拠	第二次佐久市総合計画前期基本計画施策目標(満足度指数)	3.24
第二次佐久市総合計画前期基本計画の主な取組記載内容(目標記載事項以外)		
<p>満足度指数は、広域連合や一部事務組合による事務の共同処理に取り組むほか、佐久地域定住自立圏では主にソフト事業を中心に連携強化を図るなど市町村間連携を強力に進めたため、上昇基調で順調に推移したと考えられる。</p> <p>今後も人口減少社会の下で、市町村間の役割分担や連携がこれまで以上に重要となることから、引き続き他の市町村との協力・連携を進めることで、満足度の維持を目指す。</p>	<p>・佐久広域圏全体の人口減少に歯止めをかけるとともに、広域圏全体の社会・経済の活性化を図るため、広域圏における地域内での融和を進めるとともに、圏域市町村の適切な機能分担と連携により、住民の暮らしに根ざした施策展開を促進します。</p> <p>・佐久広域連合広域計画に基づき、佐久広域の市町村が一体となって、活力ある地域づくりを促進します。</p> <p>・社会情勢の変化に柔軟かつ迅速に対応するため、新たな広域的課題についての調査研究に努めます。</p> <p>・多様化する広域行政ニーズに適切に対応できる組織体制の強化・充実に促進します。</p>	

審議会意見	・今後も引き続き施策の充実に取り組んでもらいたい。
-------	---------------------------